

USER'S MANUAL

# 橋 視 即

きょうしろう

～ 橋梁点検支援システム～

－ 簡易マニュアル －

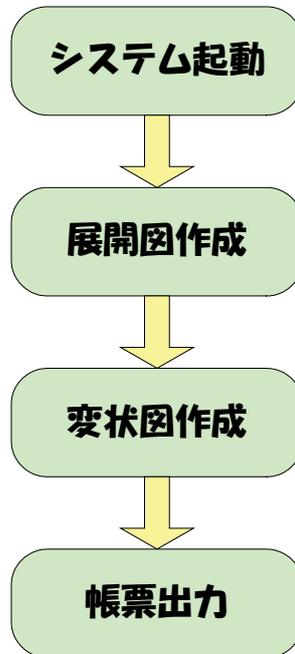
JIPテクノサイエンス株式会社

## 目 次

1. はじめに.....	1
2. システムの起動.....	2
2.1 システムの起動.....	2
2.2 新規プロジェクトの作成.....	3
3. 展開図作成.....	4
3.1 展開図作成プログラムの呼び出し.....	5
3.2 プロジェクト情報の入力.....	6
3.3 構造形式の設定.....	7
3.4 平面形状の設定.....	8
3.5 パネル割.....	9
3.6 下部工の設定.....	10
3.7 部材・要素番号の設定（入力部材設定）.....	11
3.8 部材・要素番号の設定（部材・要素番号図）.....	13
3.9 展開図確認・出力.....	20
3.10 詳細入力.....	23
3.11 外部DXF/JPGファイルの取り込み.....	24
3.12 データの保存と展開図作成プログラムの終了.....	28
4. 変状図作成.....	29
4.1 変状図作成プログラムの呼び出し.....	30
4.2 初期設定.....	32
4.3 損傷の描画（例：ひびわれの描画）.....	35
4.4 損傷情報の登録.....	36
4.5 損傷詳細情報の登録（判定基準）.....	37
4.6 損傷詳細情報の登録（詳細情報）.....	38
4.7 損傷詳細情報の登録（要素番号）.....	39
4.8 旗上げ登録.....	41
4.9 写真の登録.....	43
4.10 データの保存と変状図作成プログラムの終了.....	44
5. 帳票出力.....	45
5.1 帳票作成プログラムの呼び出し.....	46
5.2 橋梁諸元の入力（保全システム使用の場合は入力なし）.....	47
5.3 一般図、現地状況写真、番号図、損傷図の登録.....	48
5.4 出力項目の設定.....	49
5.5 帳票出力.....	50
5.6 データの保存と帳票作成プログラムの終了.....	51
6. サポート.....	52

## 1. はじめに

本書は、はじめて橋視郎をお使いいただく方のために、システムの起動から帳票出力までの一連の操作を、業務フローに添っておおまかに解説したものです。



操作の詳細につきましては、本書で『橋視郎・操作マニュアル』への参照ページ番号を記載しておりますので、そちらをご確認ください。

## 2. システムの起動

### 2.1 システムの起動

- (1) 橋視郎をインストールすると、Windows の[スタート]-[すべてのプログラム]に[橋視郎]が登録されます。この中から 橋 『橋視郎』 橋梁点検支援システム を選択し、クリックすると橋視郎が起動し、下記トップ画面が表示されます。

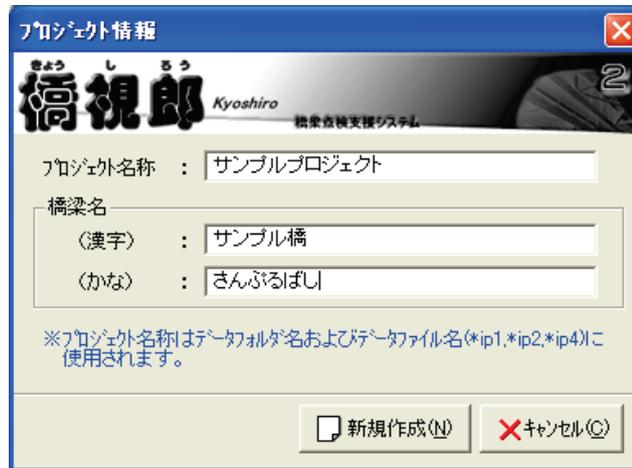


#### 【『橋視郎・管理マニュアル』への参照情報】

- ・ トップ画面の画面構成、ツールバーについて ⇒ 「6.1.1 画面構成」
- ・ トップ画面のメニューについて ⇒ 「6.1.2 ファイルメニュー」

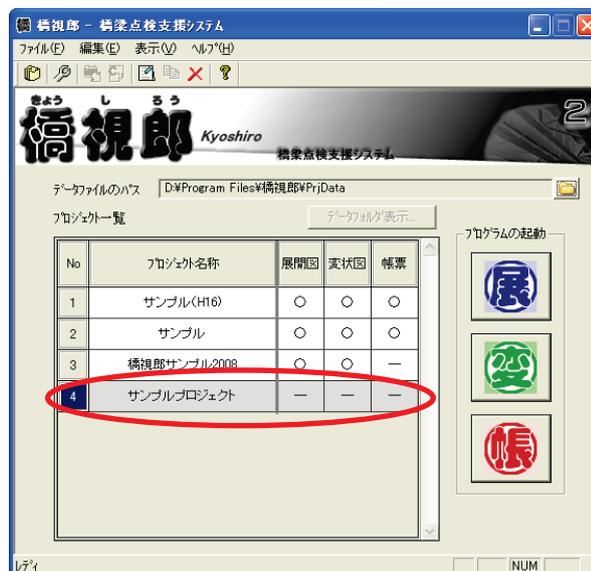
## 2.2 新規プロジェクトの作成

(1) ツールバーの  をクリックしてください。下記ダイアログが表示されます。



(2) ダイアログに、プロジェクト名称、橋梁名（漢字）、橋梁名（かな）を入力して、[新規作成]ボタンを押してください。

(3) プロジェクト一覧に(2)で入力したプロジェクトが追加されます。

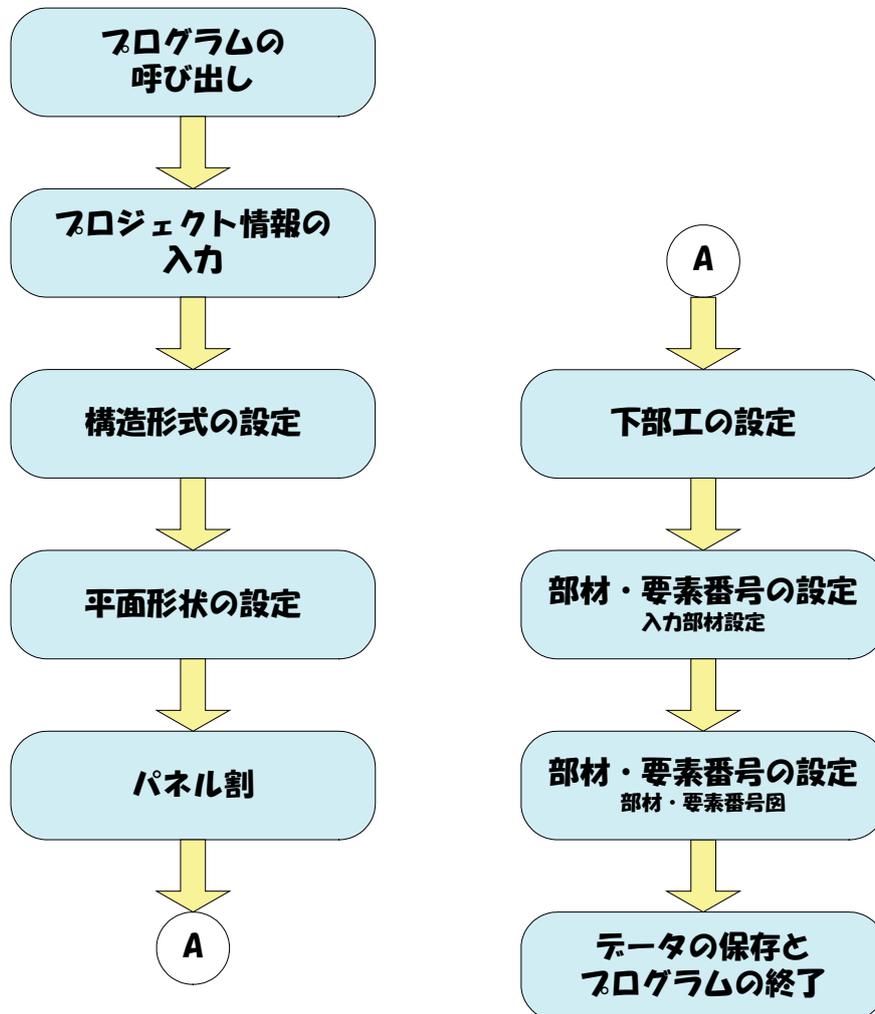


### 【『橋視郎・管理マニュアル』への参照情報】

- プロジェクトの編集・削除について ⇒ 「6.1.3 編集メニュー」
- 写真ファイルの取込みについて ⇒ 「6.1.2 ファイルメニュー」
- データパスの設定について ⇒ 「6.1.2 ファイルメニュー」

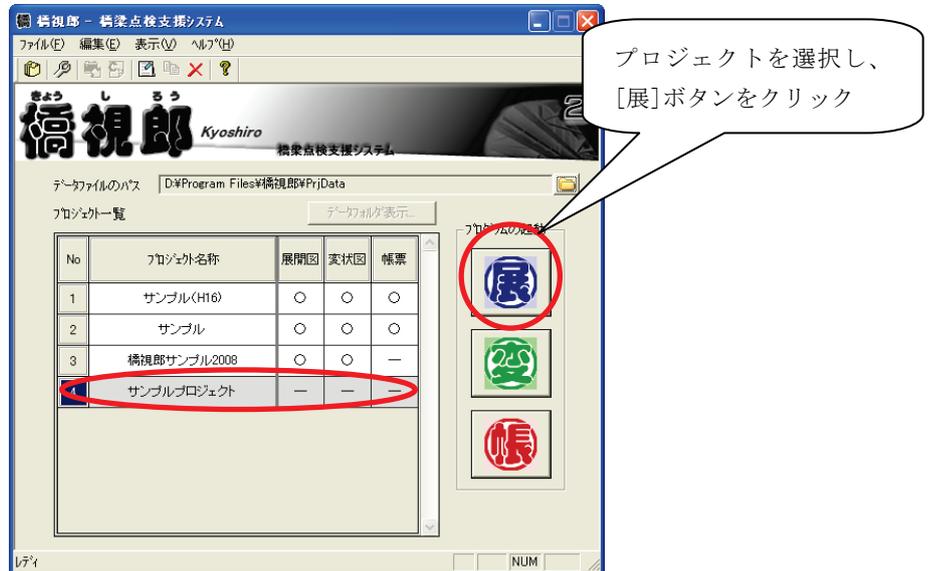
### 3. 展開図作成

橋視郎を使った展開図作成のおおまかな作業フローは、下記のようになります。

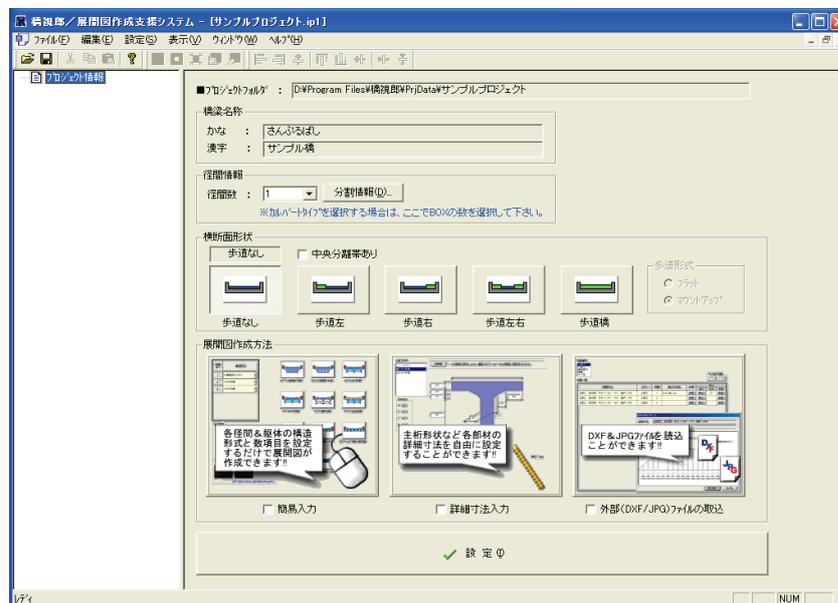


### 3.1 展開図作成プログラムの呼び出し

- (1) プロジェクト一覧でプロジェクトをマウスで選択し、プログラムを起動の[展]ボタンをクリックしてください。



- (2) 展開図作成プログラムが表示されます。

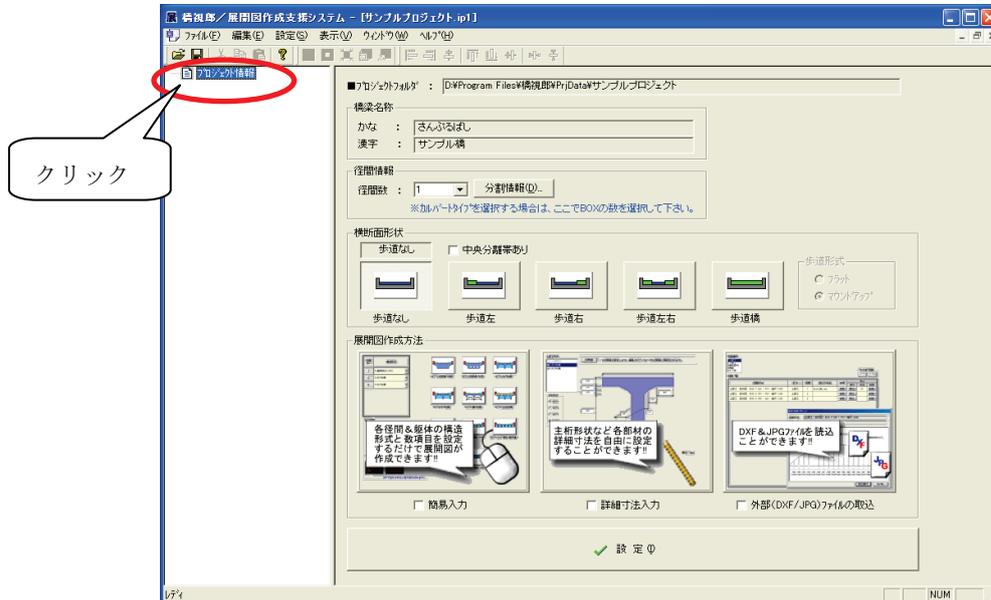


#### 【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

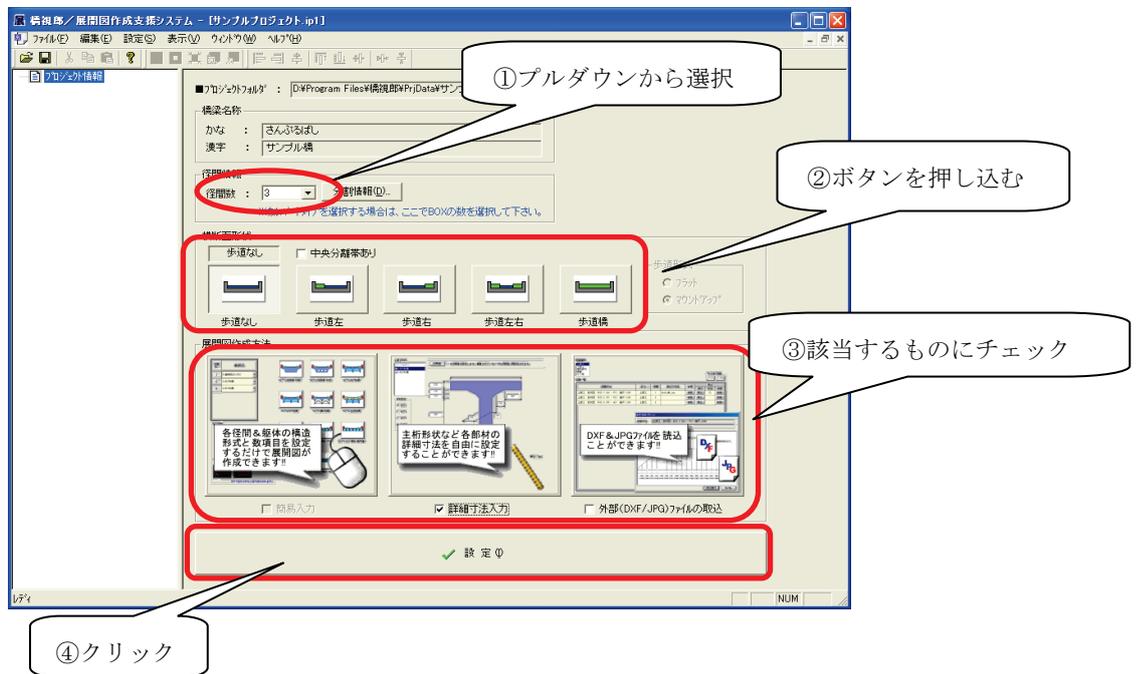
- ・展開図作成プログラムの画面構成、ツールバーについて ⇒ 「5.1 画面構成」
- ・展開図作成プログラムのメニュー、各種設定について ⇒ 「5.2 メニュー説明」

## 3.2 プロジェクト情報の入力

- (1) 画面左側で「プロジェクト情報」を選択すると、画面右側にプロジェクト情報入力画面が表示されます。



- (2) 径間数、横断面形状、展開図作成方法を選択し、[設定]ボタンをクリックします。

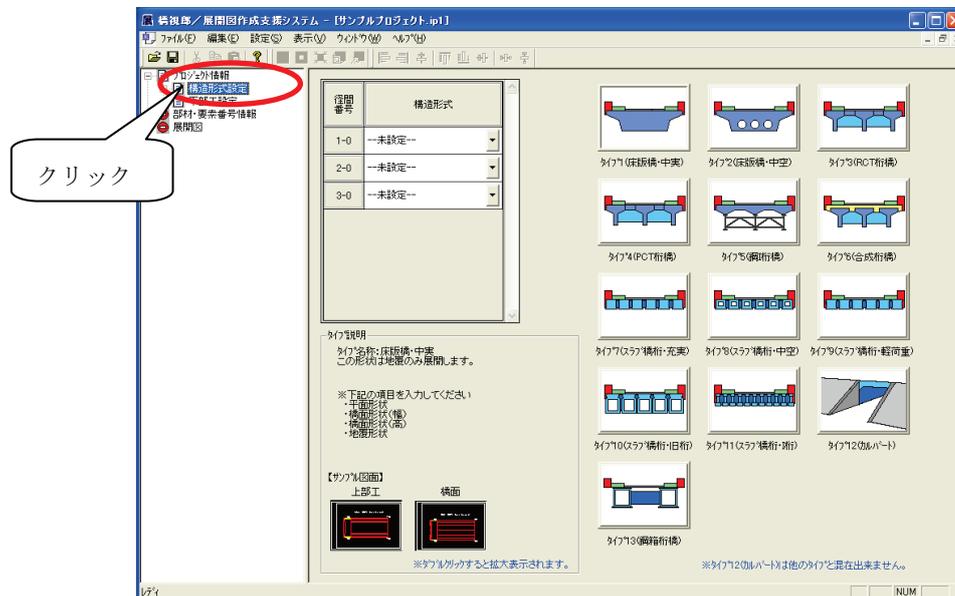


## 【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

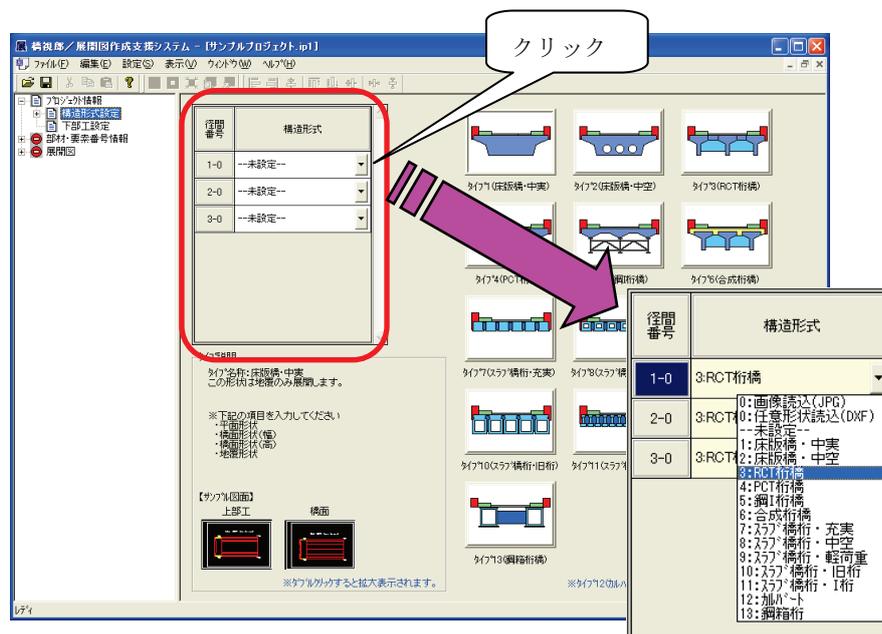
- ・プロジェクト情報について ⇒ 「5.3.1 プロジェクト情報」

### 3.3 構造形式の設定

(1) 画面左側で「構造形式設定」を選択すると、画面右側に構造形式設定画面が表示されます。



(2) 構造形式の表で▼ボタンをクリックし、径間ごとに上部工形状を選択します。



#### 【メモ】

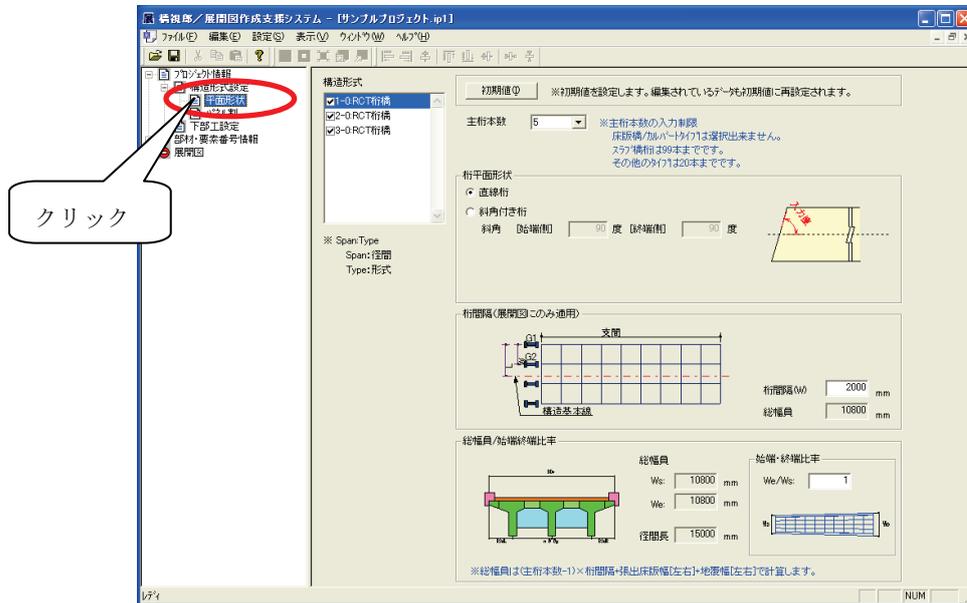
- ・全径間同じ構造の場合は、1径間目だけ入力し、セルを複数選択した状態で[Ctrl]+[Enter]を押してください。全セルに同じ項目が入力されます。

#### 【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

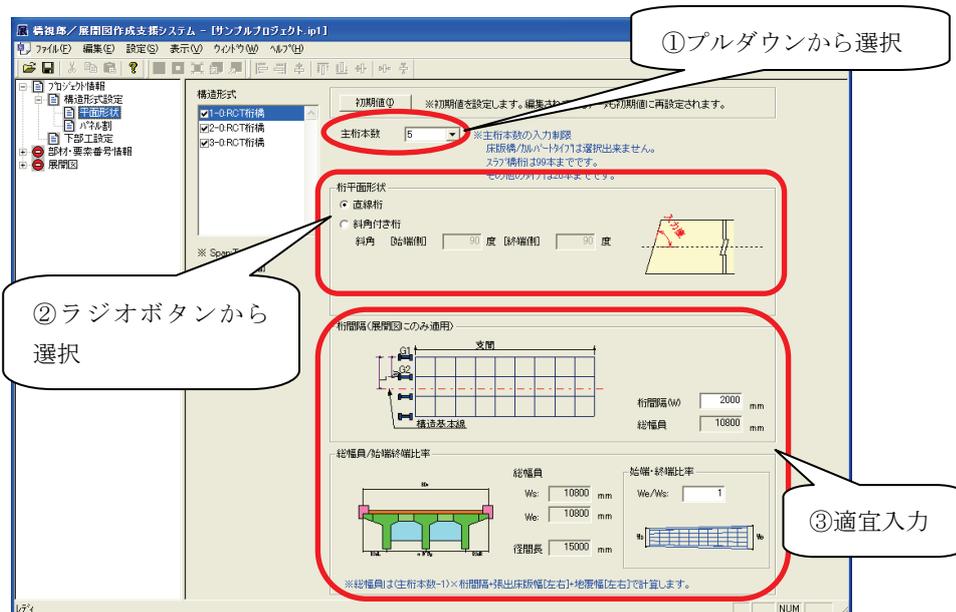
- ・構造形式の設定について ⇒ 「5.3.2 構造形式設定」

## 3.4 平面形状の設定

(1) 画面左側で「平面形状」を選択すると、画面右側に平面形状設定画面が表示されます。



(2) 主桁本数、桁平面形状などを入力します。

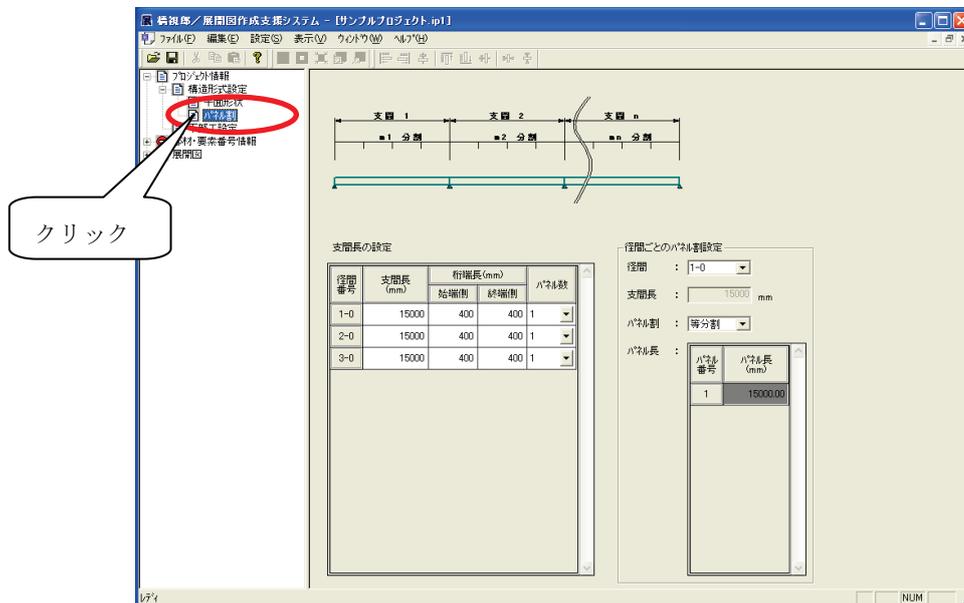


【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

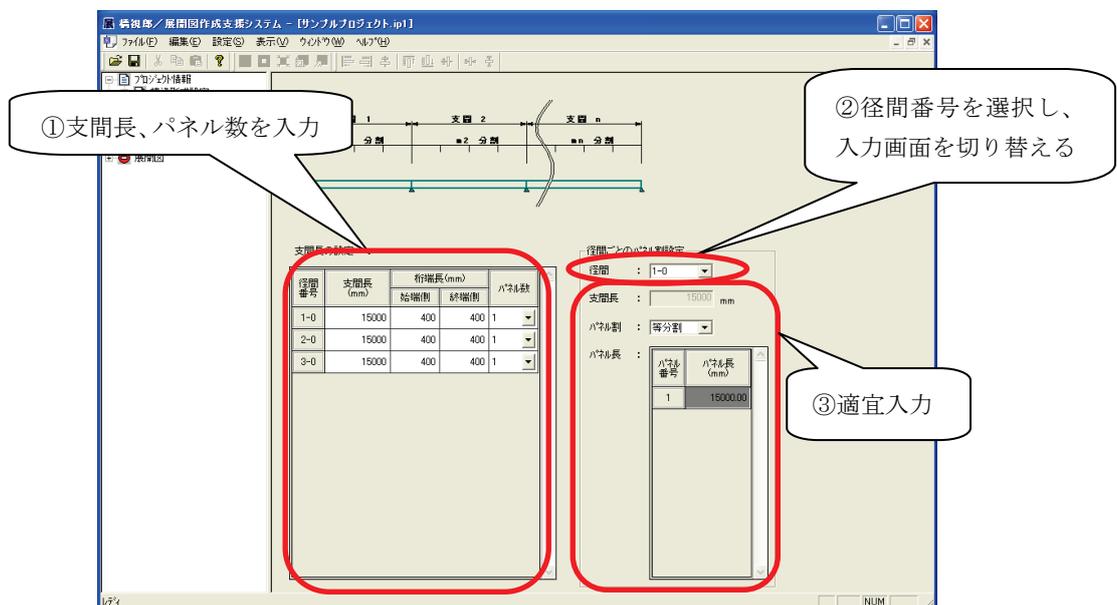
・平面形状の設定について ⇒ 「5.3.3 平面形状」

## 3.5 パネル割

(1) 画面左側で「パネル割」を選択すると、画面右側にパネル割設定画面が表示されます。



(2) 支間長、パネル数などを入力します。

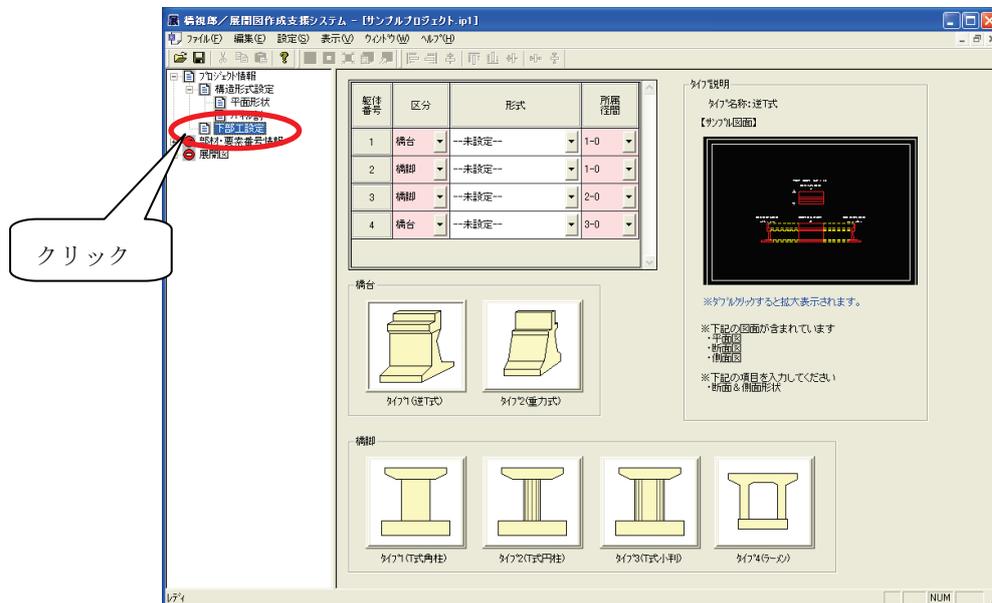


【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

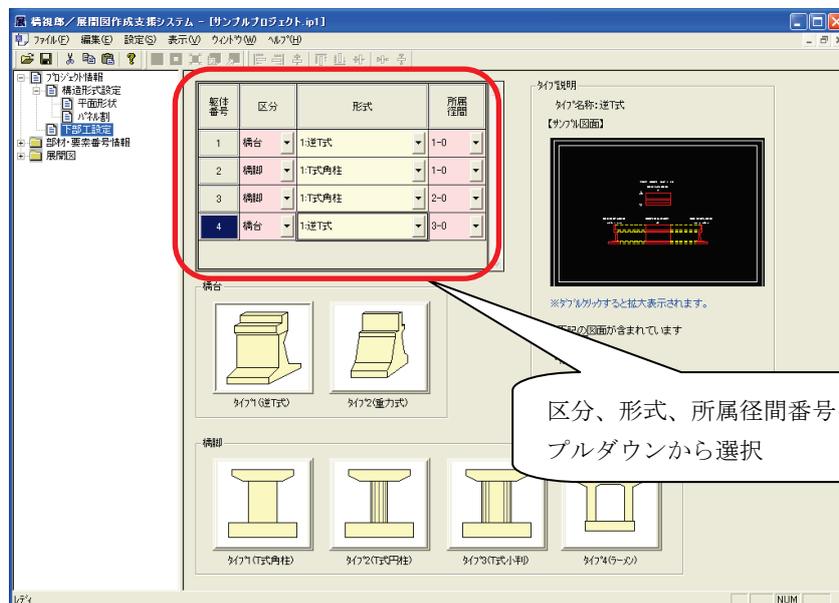
・パネル割について ⇒ 「5.3.4 パネル割」

## 3.6 下部工の設定

(1) 画面左側で「下部工設定」を選択すると、画面右側に下部工設定画面が表示されます。



(2) 区分、形式、所属径間番号を入力します。

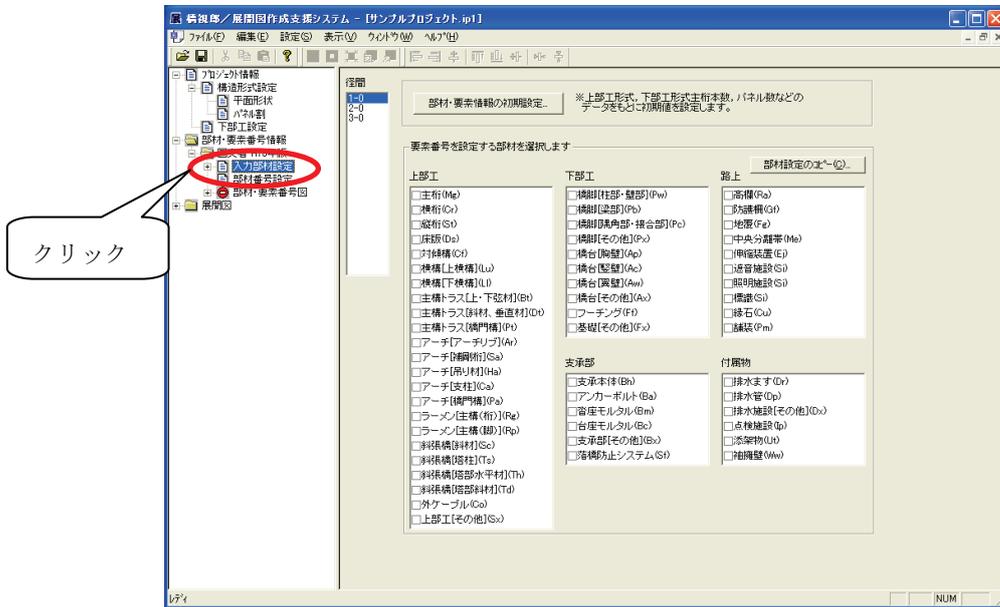


【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

・下部工設定について ⇒ 「5.3.5 下部工設定」

### 3.7 部材・要素番号の設定（入力部材設定）

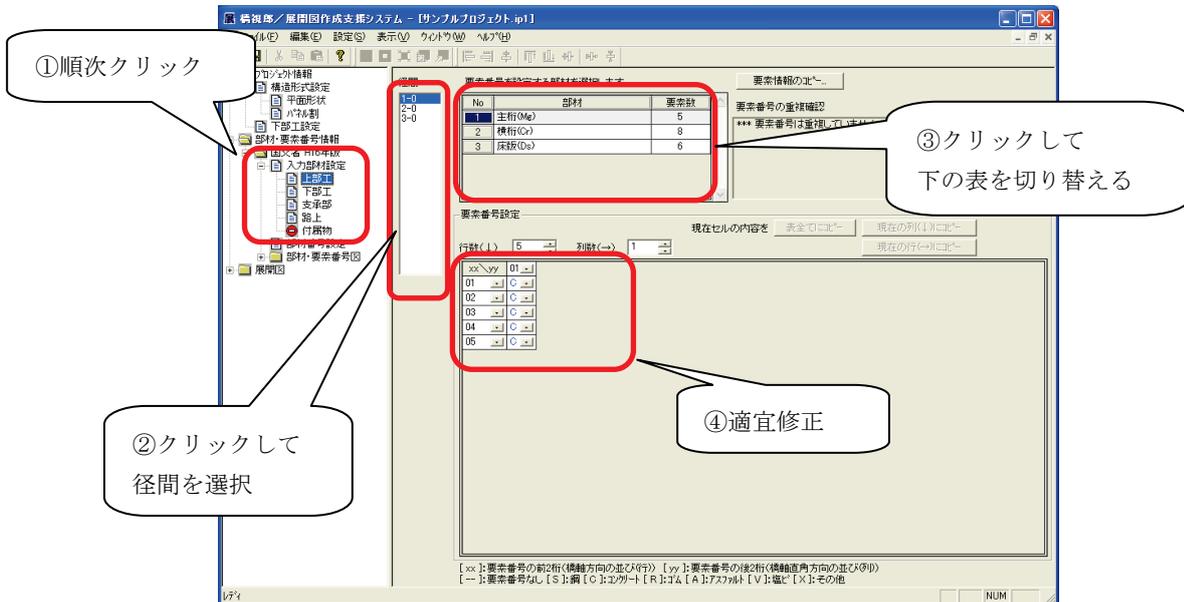
(1) 画面左側で「入力部材設定」を選択すると、画面右側に入力部材設定画面が表示されます。



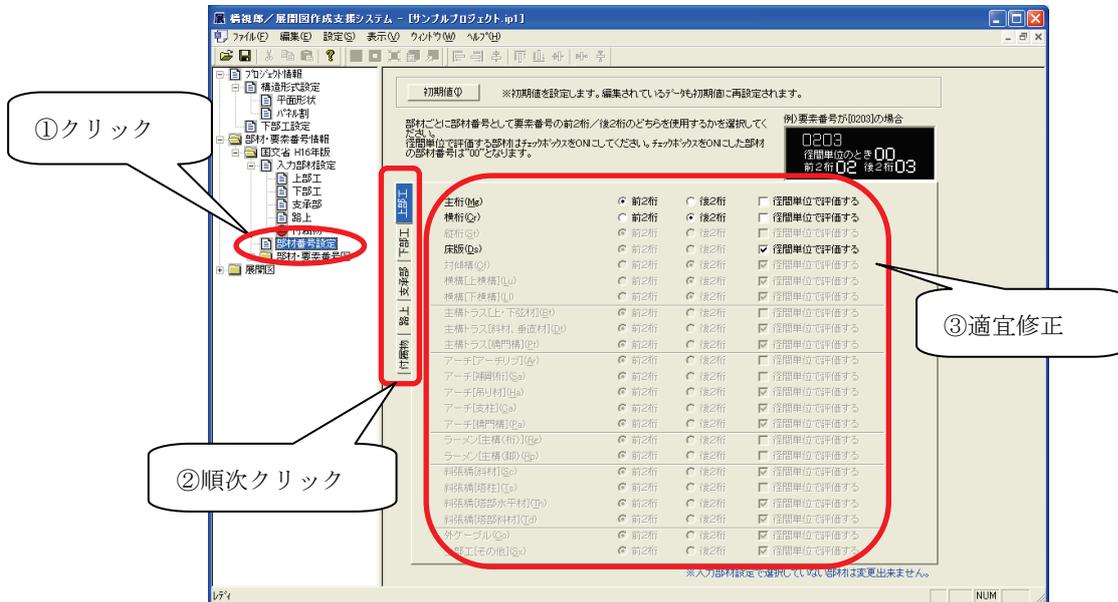
(2) 径間ごとに、設定する部材を選択します。



(3) 画面左側の「入力部材設定」の「+」をクリックすると「上部工」「下部工」などのサブメニューが表示されます。各サブメニューを選択すると、要素番号設定画面が表示されます。径間ごとに、要素番号表設定を確認・設定します。



(4) 画面左側の「部材番号設定」を選択すると、部材番号設定画面が表示されます。タブを切り替えて、部材番号表設定を確認・設定します。

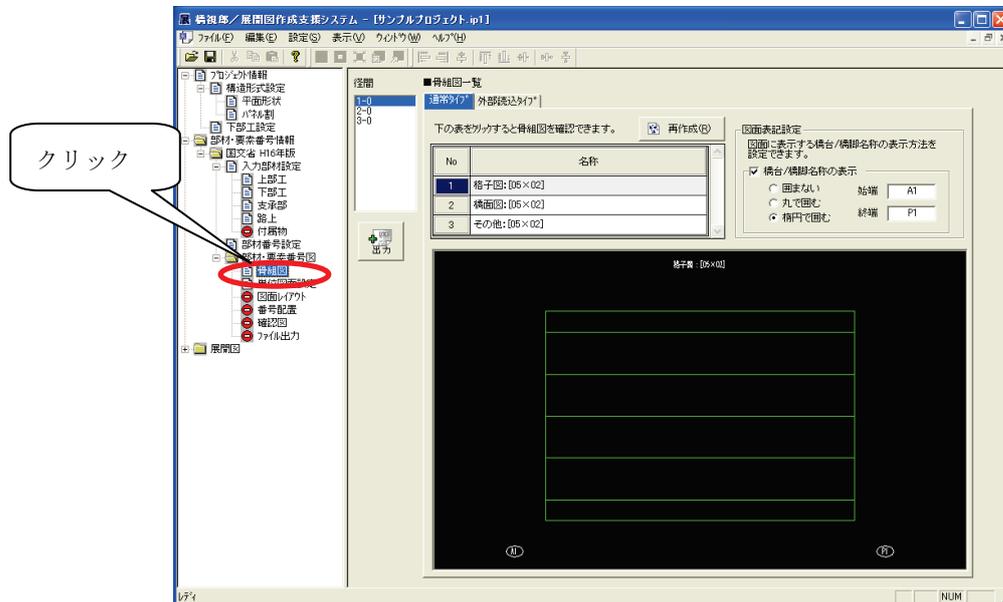


【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

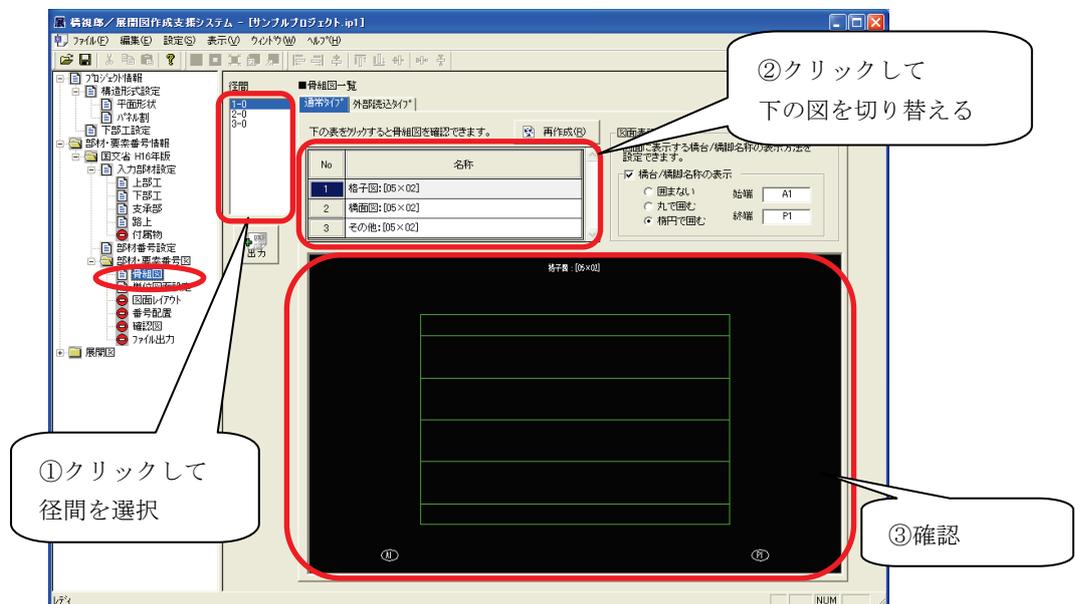
・入力部材設定について ⇒ 「5.3.6 入力部材設定」

## 3.8 部材・要素番号の設定（部材・要素番号図）

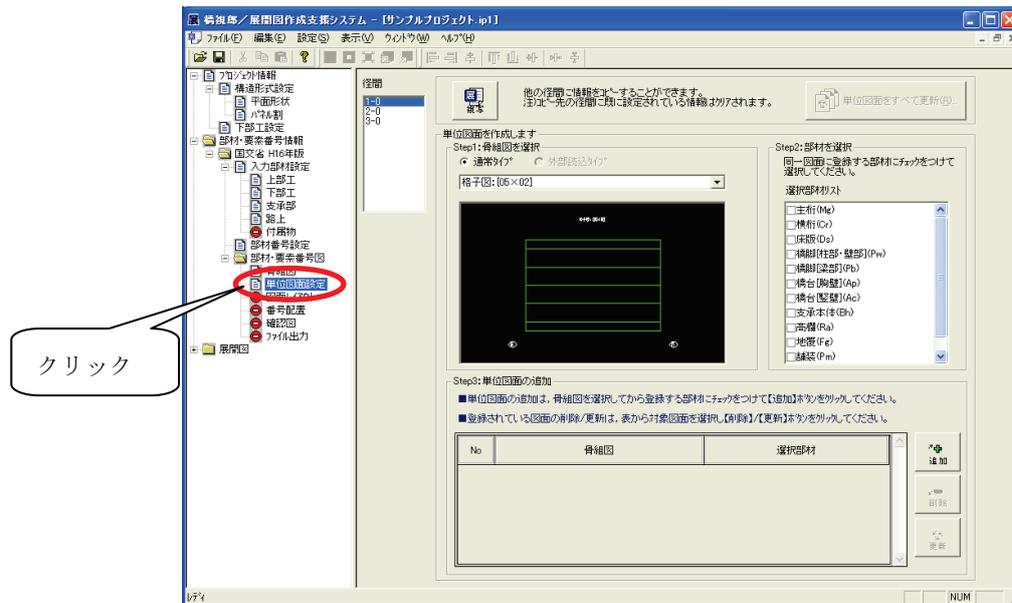
- (1) 画面左側の「部材・要素番号図」の「+」をクリックすると「骨組図」「単位図面設定」などのサブメニューが表示されます。まず「骨組図」をクリックします。



- (2) 下記手順で、骨組図を確認します。

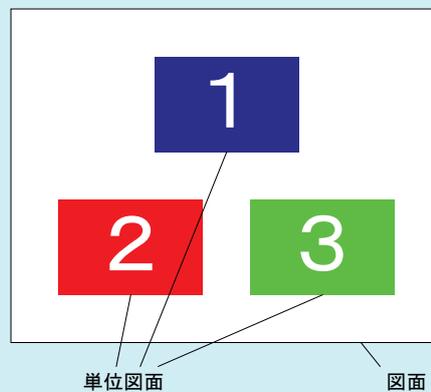


(3) 次に、画面左側の「単位図面設定」をクリックします。単位図面設定画面が表示されます。

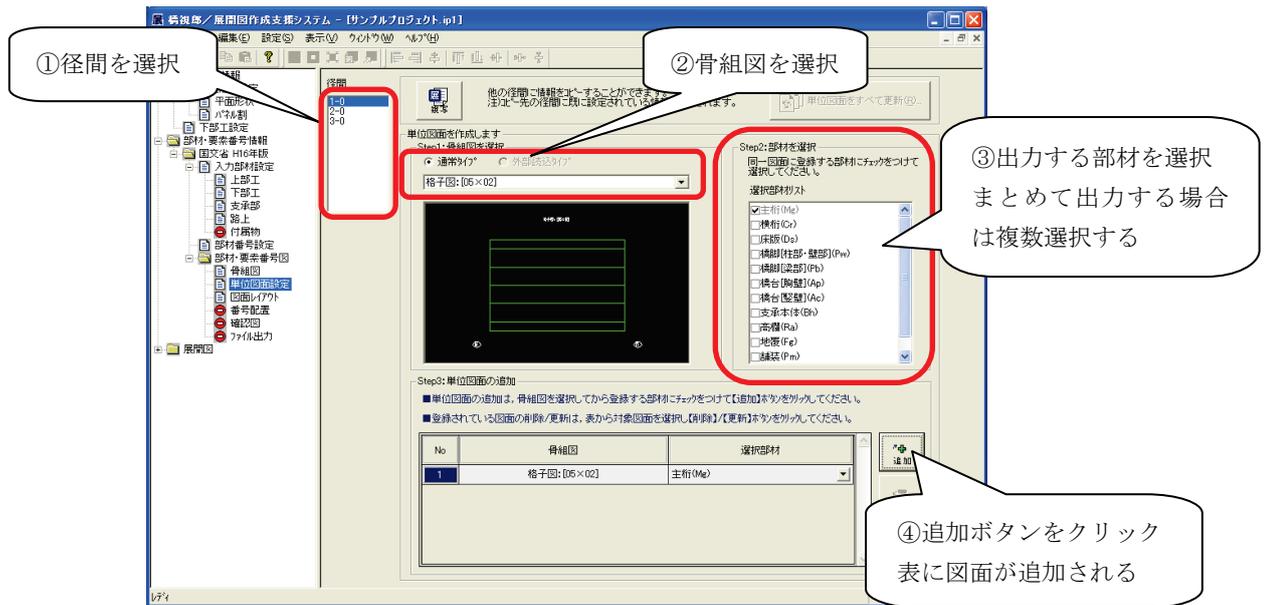


#### 【メモ】

- 単位図面とは、図面(=用紙)に配置する“格子図”などのひとつひとつの図のことをいいます。単位図面の図面への配置については、この後の「図面レイアウト」で説明します。



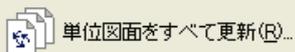
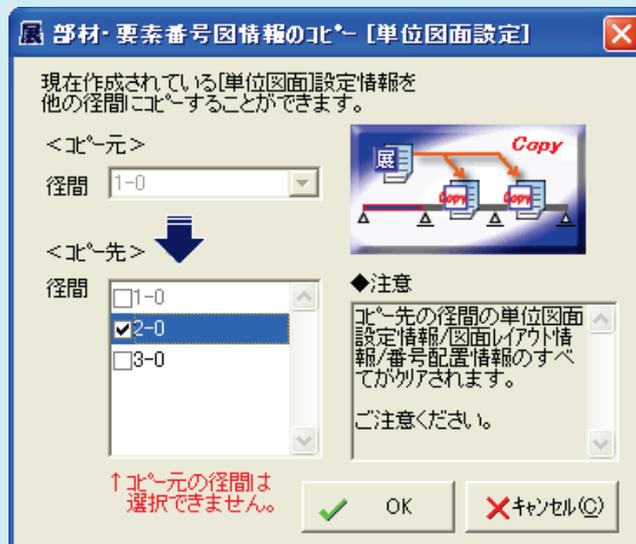
(4) 下記手順を繰り返して、単位図面を作成していきます。



【メモ】

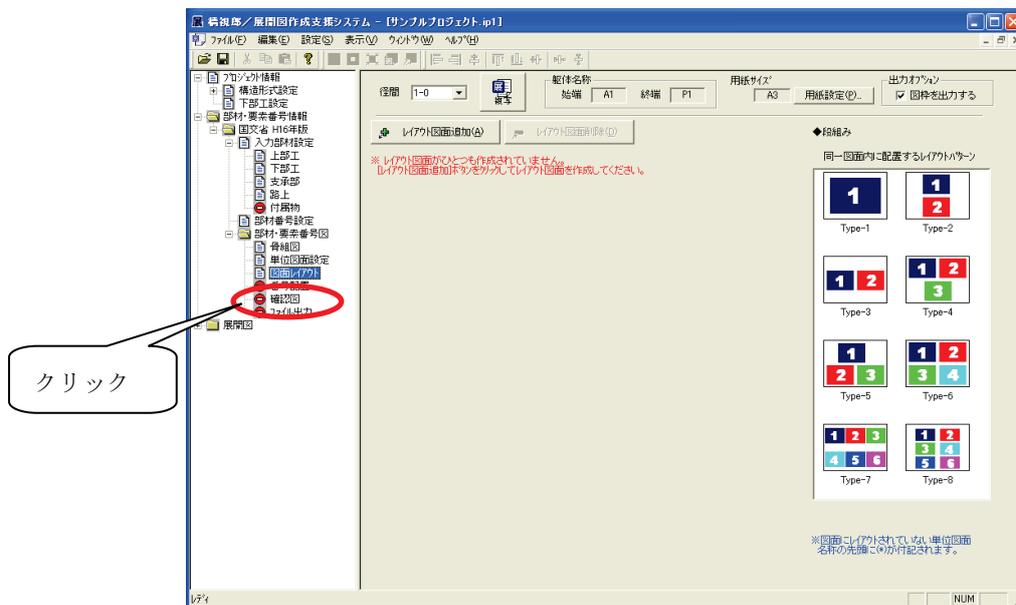


- ボタンをクリックすると、入力した径間データを他の径間にコピーすることができます。下記ダイアログが表示されますので、コピー元とコピー先の径間を指定して[OK]ボタンをクリックしてください。

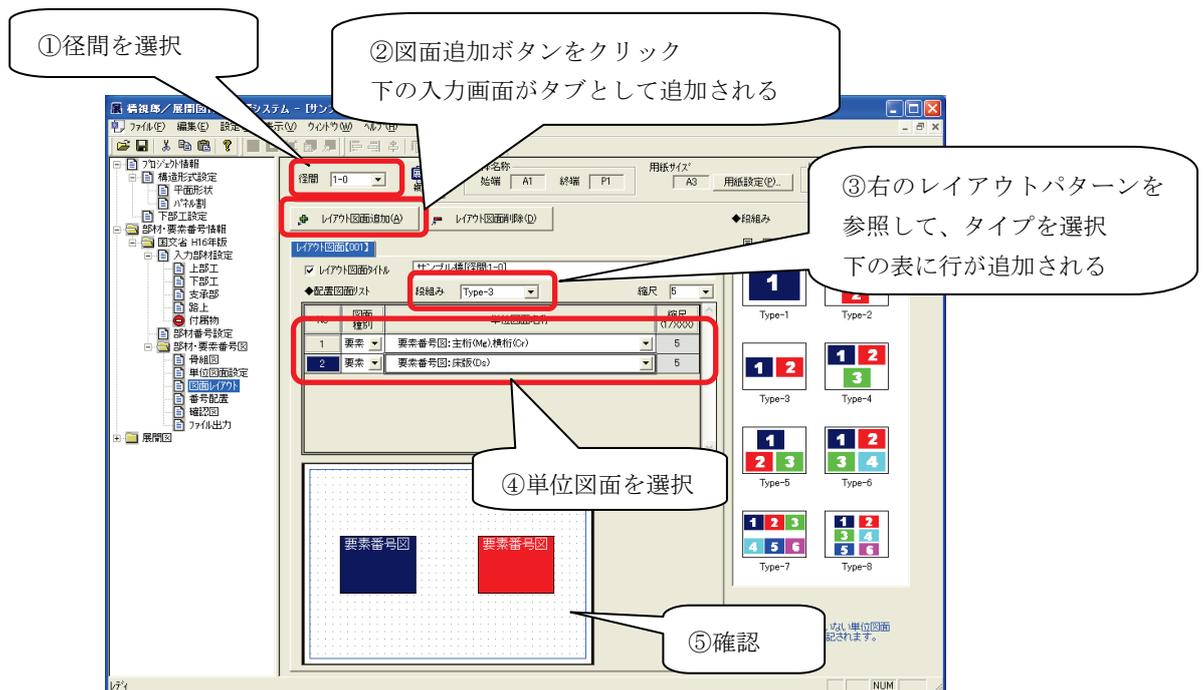


- 単位図面をすべて更新(R)... をクリックすると骨組図の形状を変更したあとに一括で全図面の関連づけを更新することができます。

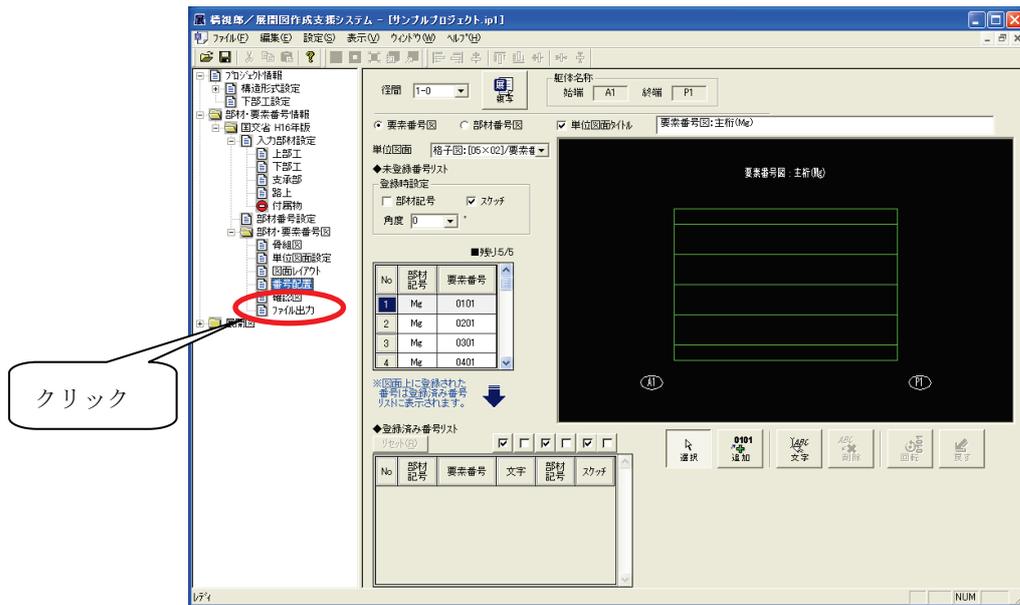
- (5) 次に、画面左側の「図面レイアウト」をクリックします。図面レイアウト画面が表示されます。



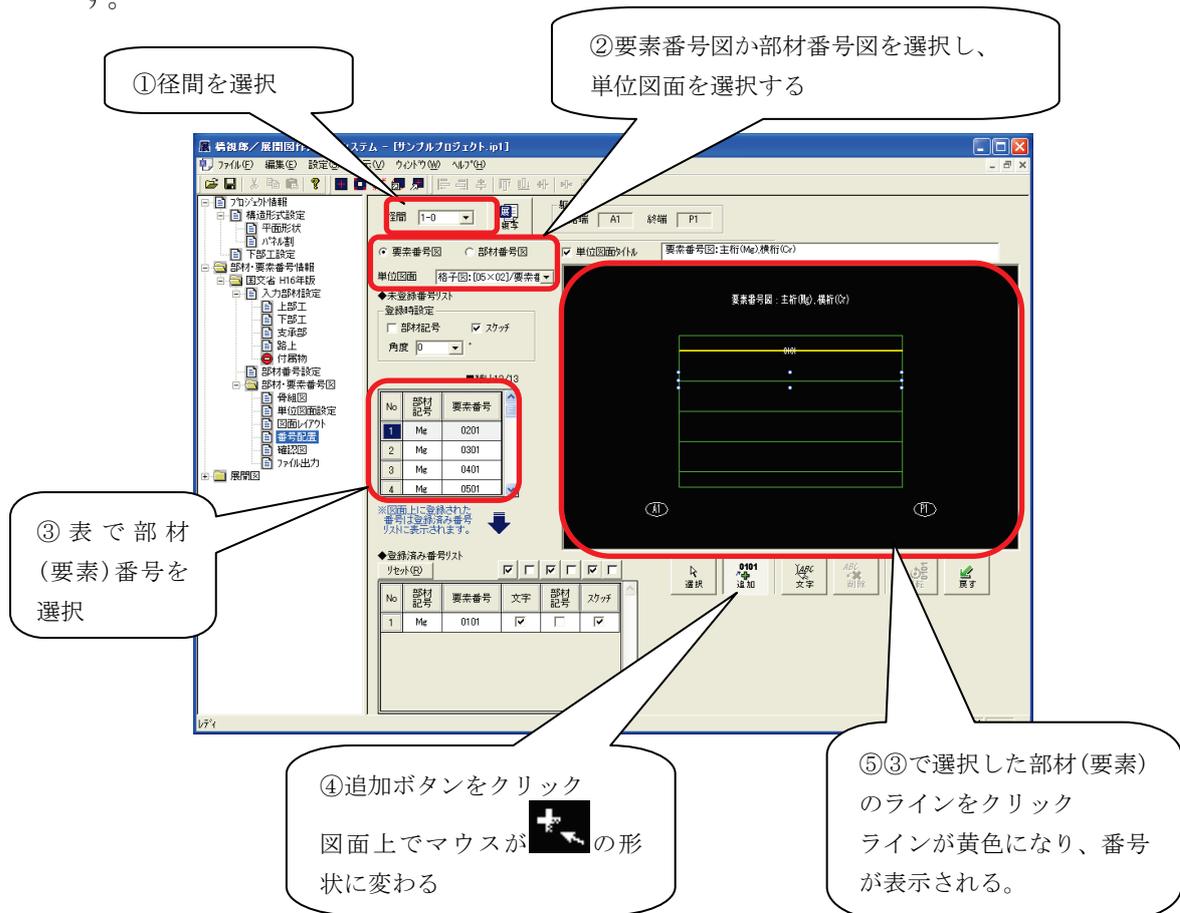
- (6) 下記手順を繰り返して、(3)で作成した単位図面を用紙上に配置していきます。



(7) 次に、画面左側の「番号配置」をクリックします。番号配置画面が表示されます。



(8) 下記手順を繰り返して、(3)で作成した単位図面上に部材番号・要素番号を配置していきます。



## 【メモ】

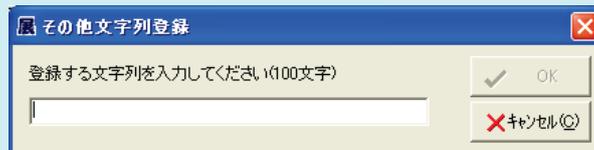
- ・「単位図面タイトル」のチェックボックスをチェックすると、単位図面のタイトルを設定できます。入力枠に任意の文字列を入力してください。単位図面上に入力した文字列が表示されます。このとき“ $\r\n$ ”と入力すると単位図面上で文字列が改行されます。



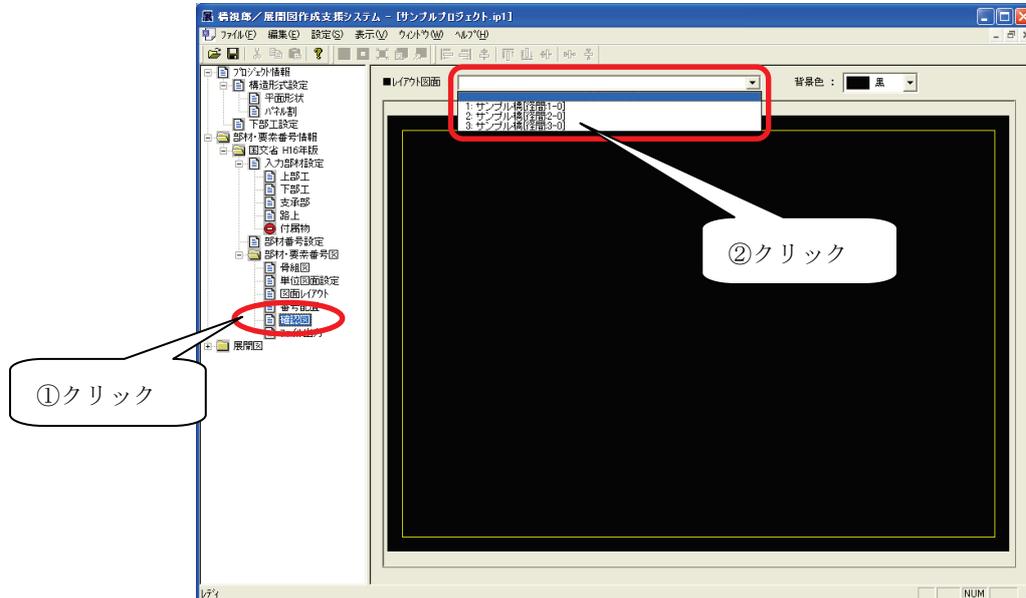
- ・ボタンをクリックして、単位図面上をドラッグすると、ドラッグした領域に含まれる要素番号(部材番号)が選択されます。選択された状態でカーソルキー[↑][↓][←][→]を押すと、番号が上下左右に移動します。



- ・ボタンをクリックした後、単位図面上の任意の位置をクリックすると、下記ダイアログが表示されます。任意の文字を入力して[OK]ボタンをクリックすると、図面上クリックした位置に入力した文字が表示されます。



- (9) 最後に、画面左側の「確認図」をクリックします。確認図画面が表示され、上部にレイアウト図面のプルダウンが表示されますので、表示させるレイアウト図面を選択します。



(10) プルダウンを切り替えて各図面を確認します。

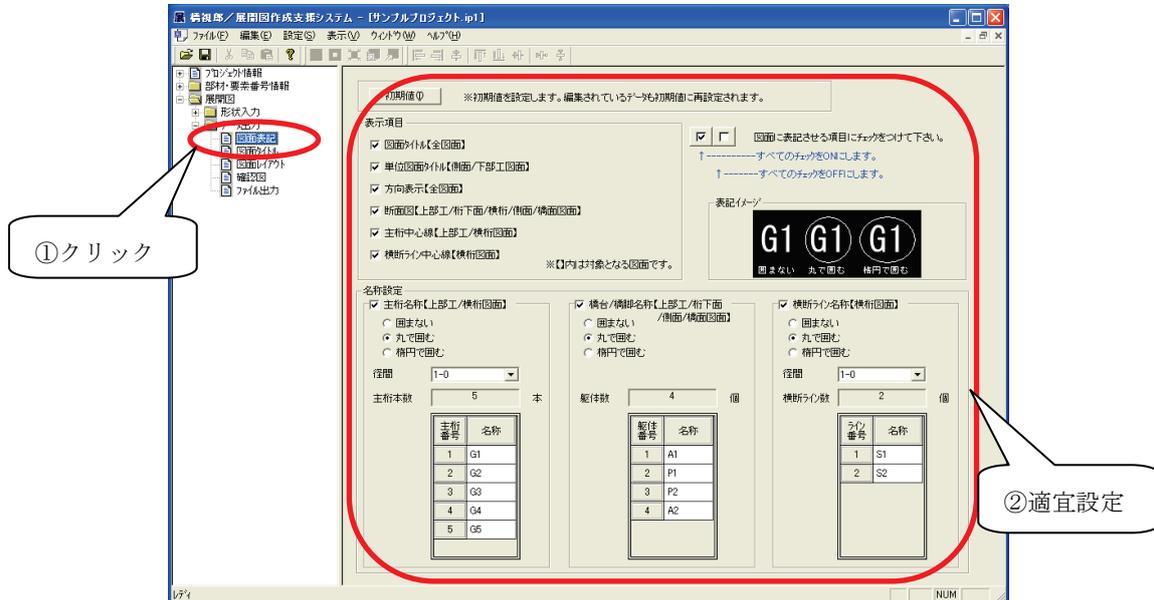


【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

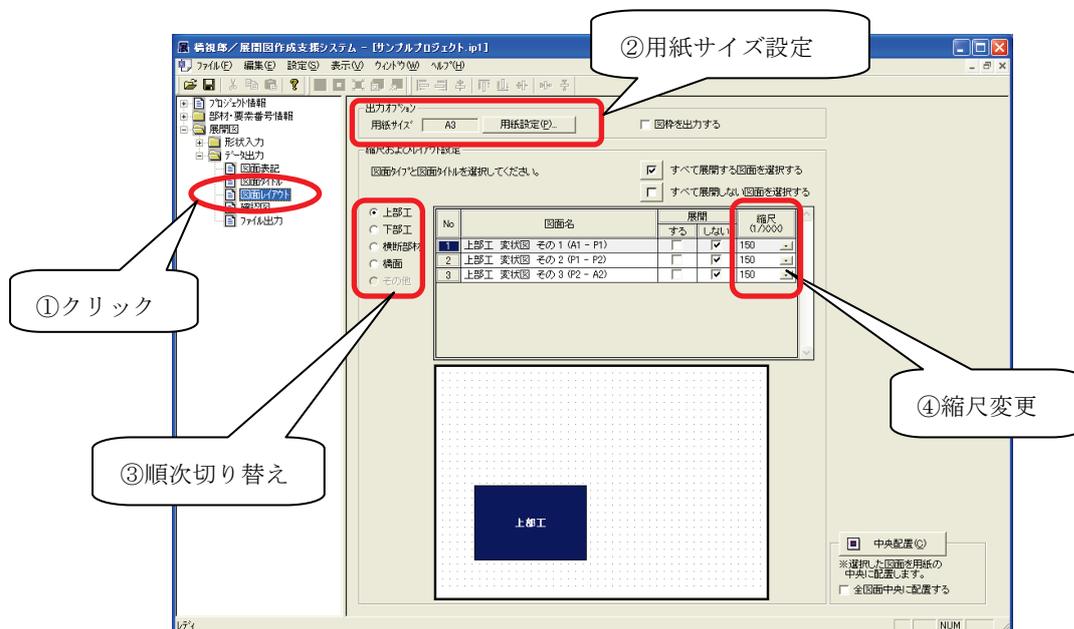
・部材・要素番号図の設定・確認について ⇒ 「5.3.9 骨組図」

## 3.9 展開図確認・出力

- (1) 画面左側で「図面表記」をクリックすると、画面右側に図面表記設定画面が表示されますので、各項目を適宜設定します。

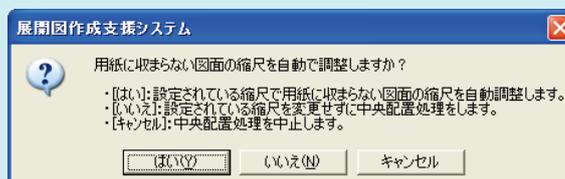


- (2) 画面左側で「図面レイアウト」をクリックします。画面右側にレイアウト設定画面が表示されますので、用紙サイズや縮尺などの設定を行います。

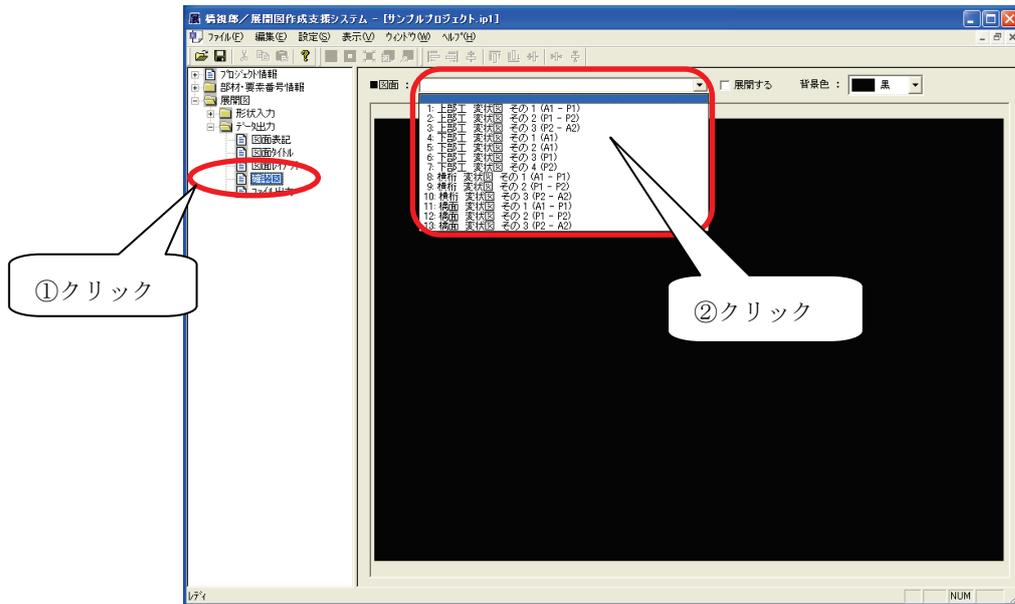


## 【メモ】

- 縮尺を 1/2 など小さく設定し、レイアウト枠からはみ出した状態で、**中央配置** ボタンをクリックすると、自動的にリサイズがかけられ、用紙中央に配置されます。下記ダイアログが表示されますので、[はい]をクリックしてください。



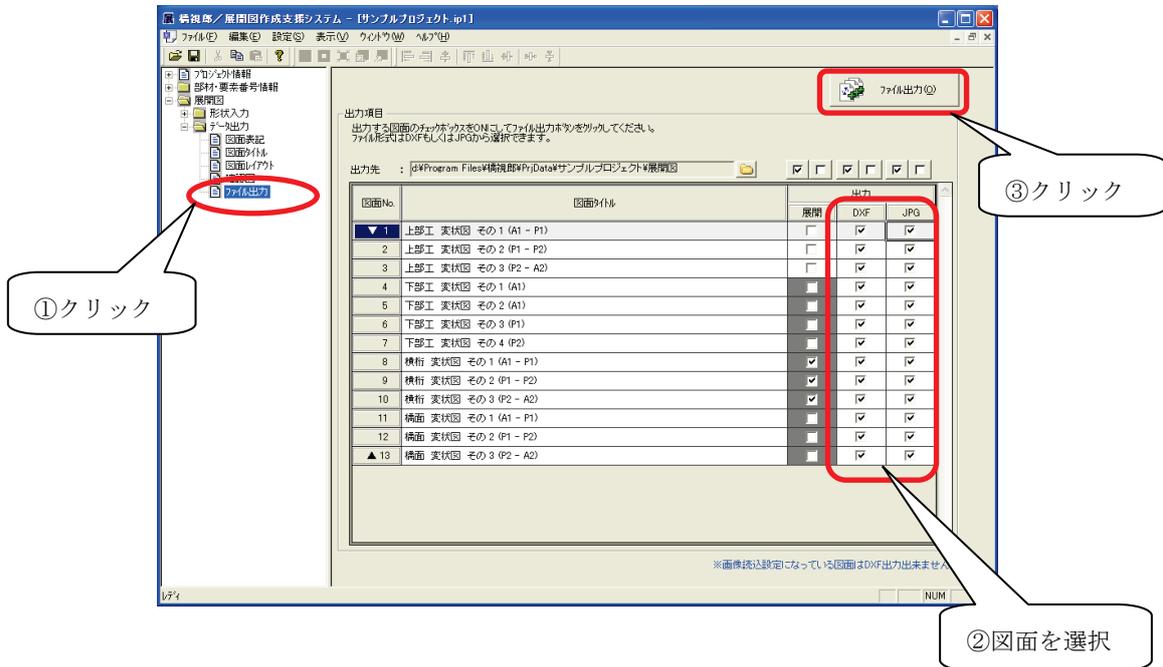
(3) 画面左側で「確認図」をクリックします。画面右側に展開図確認図画面が表示され、上部に展開図面のプルダウンが表示されますので、表示させる図面を選択します。



(4) プルダウンを切り替えて各図面を確認します。



- (5) 画面左側で「ファイル出力」をクリックします。画面右側にファイル出力画面が表示されますので、表示させる図面を選択し、画面上部の[ファイル出力]ボタンをクリックします。所定の出力先にファイルが出力されます。

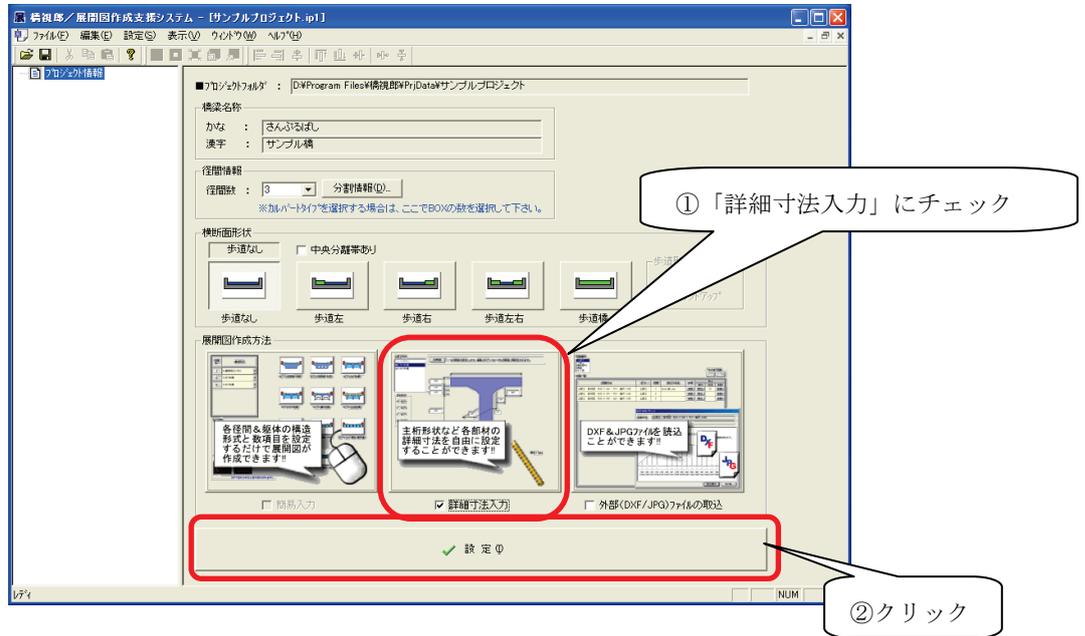


【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

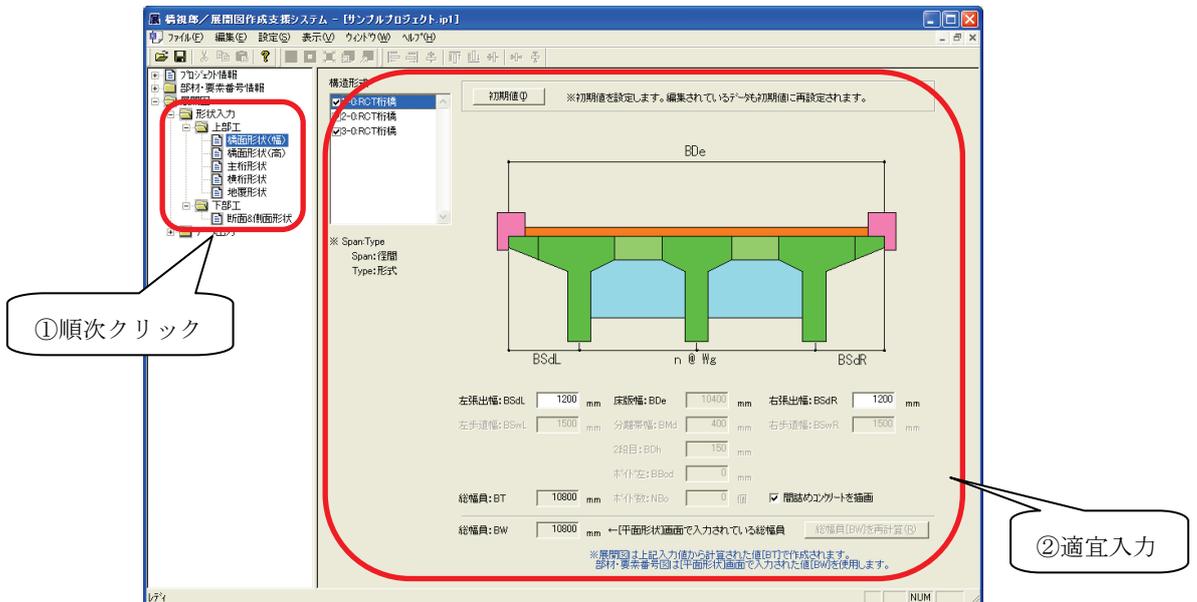
- ・展開図の確認・出力について ⇒ 「5. 3. 23 図面表記」以降

### 3.10 詳細入力

(1) プロジェクト情報入力画面（展開図作成トップ画面）で、「詳細寸法入力」にチェックを入れ、設定ボタンをクリックすると、詳細入力モードになります。



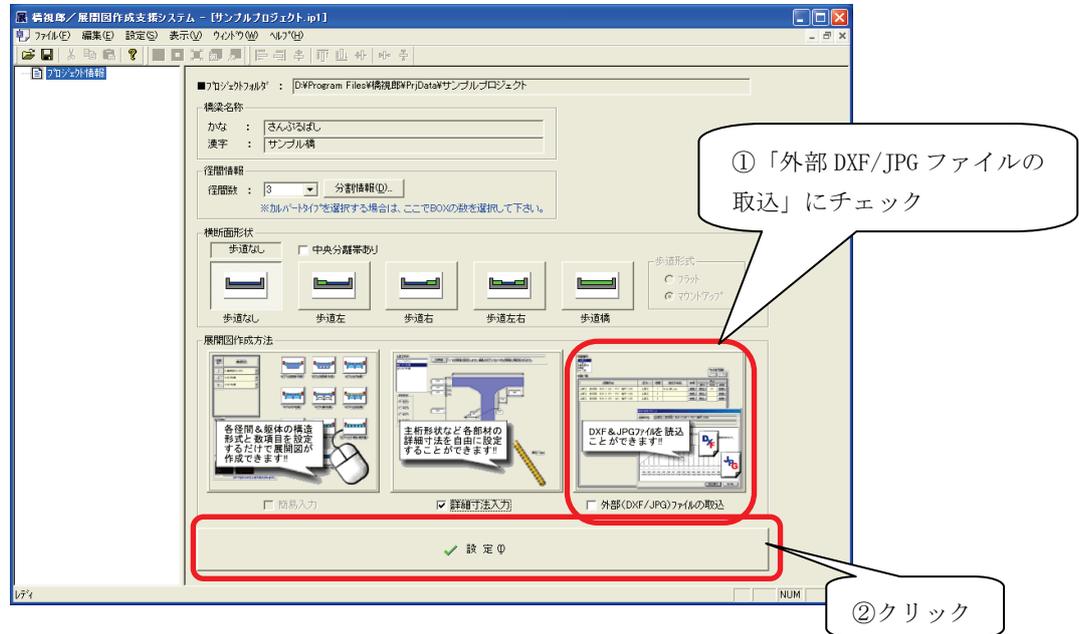
(2) 詳細入力モードでは、画面左側の「展開図」の下層に「形状入力」の各項目が表示されますので、『3.9 展開図確認・出力』の前に、順次クリックし右側の入力画面に詳細な寸法を入力してください。



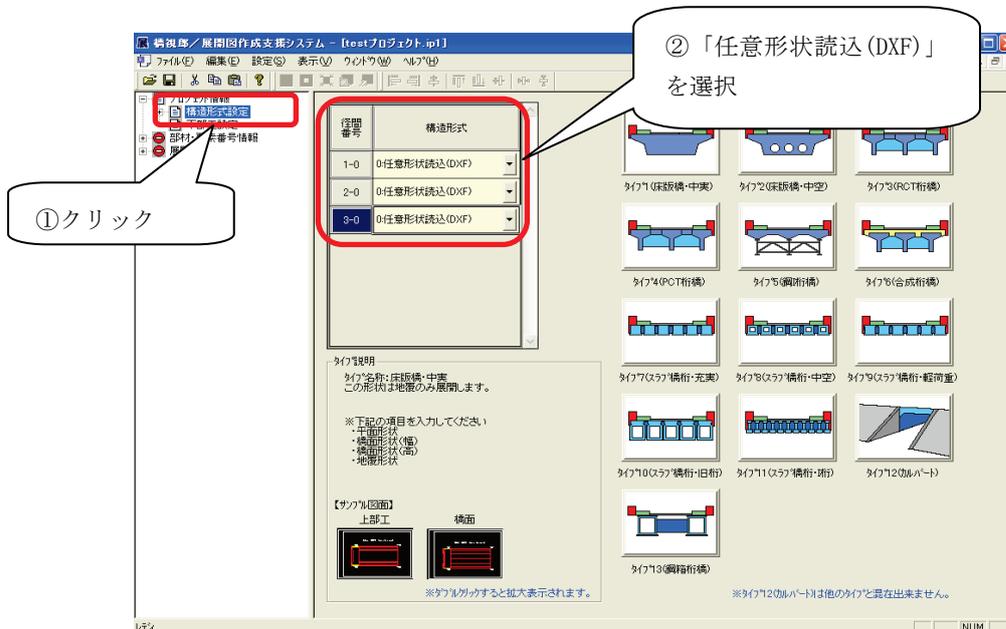
【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】  
 ・詳細入力について ⇒ 「5.3.15 橋面形状」以降

## 3.11 外部 DXF/JPG ファイルの取り込み

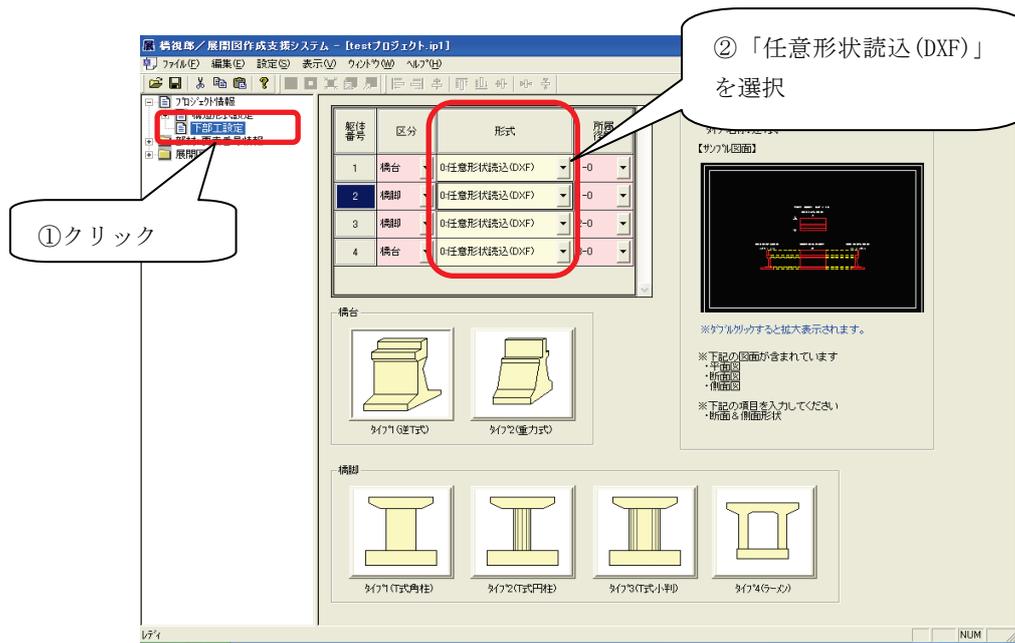
- (1) プロジェクト情報入力画面（展開図作成トップ画面）で、「外部 DXF/JPG ファイルの取込」にチェックを入れ、設定ボタンをクリックすると、外部ファイル取込モードになります。



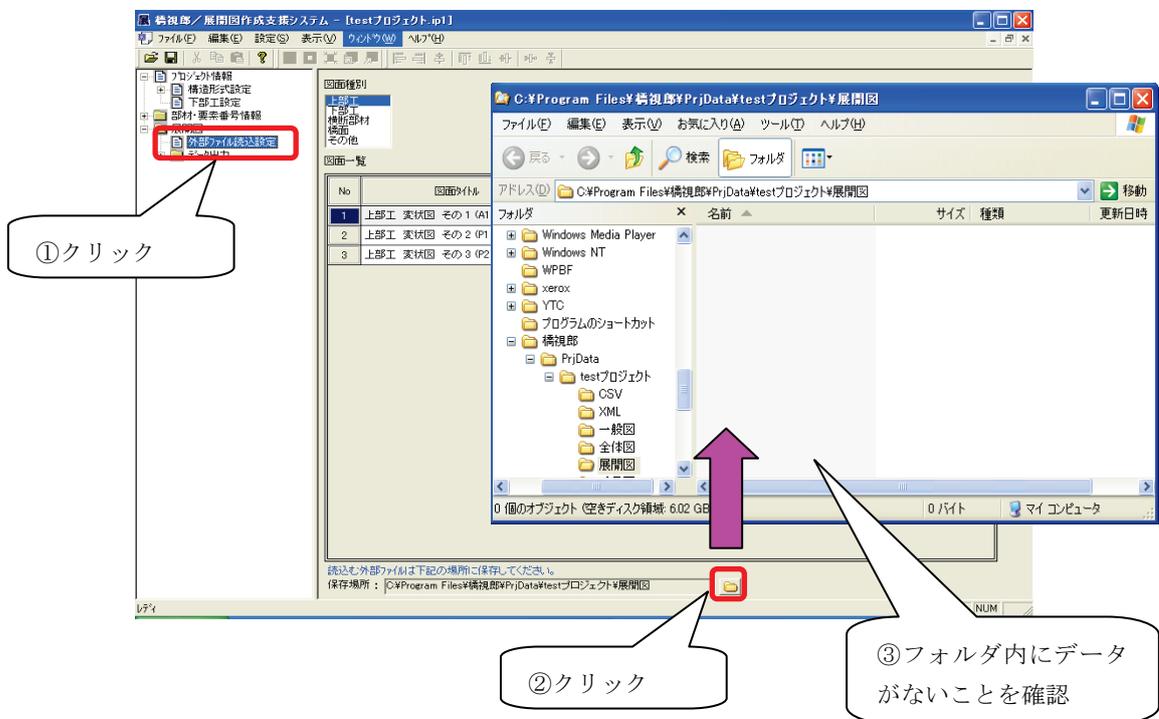
- (2) 外部ファイル取込モードでは、以下の画面で通常とは異なる入力をします。まず、構造形式設定画面では、構造形式の表のプルダウンをクリックして、「任意形状読込 (DXF)」を選択します。



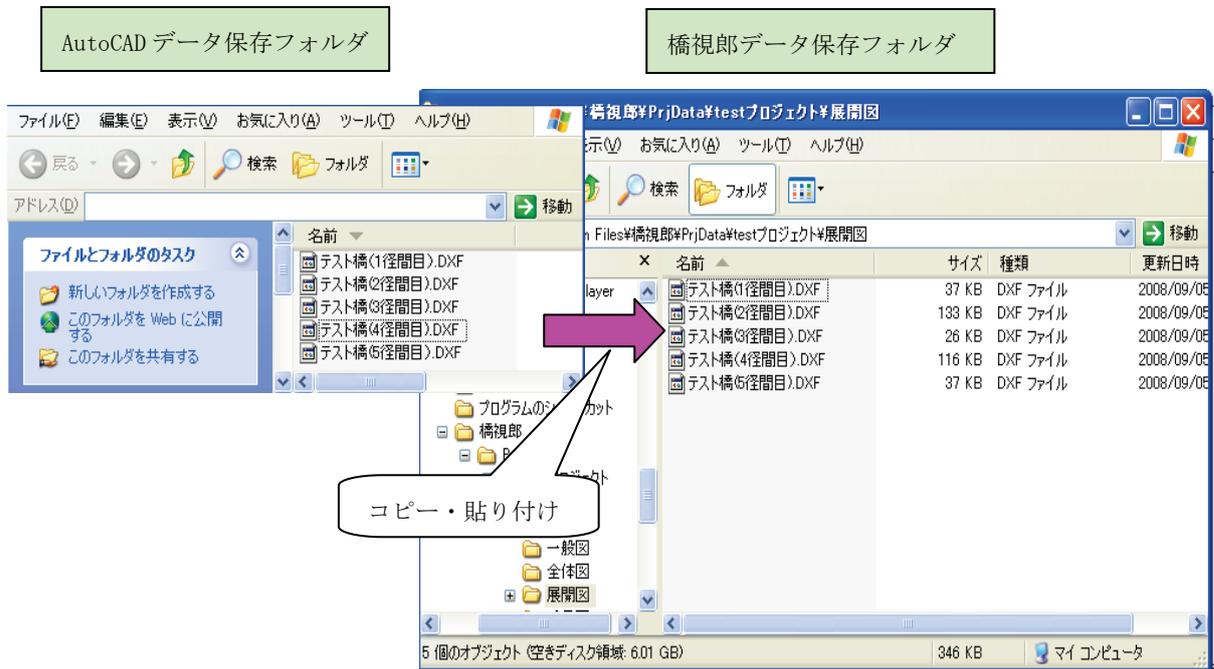
- (3) 下部工設定画面では、形式の表のプルダウンをクリックして、「任意形状読込 (DXF)」を選択します。



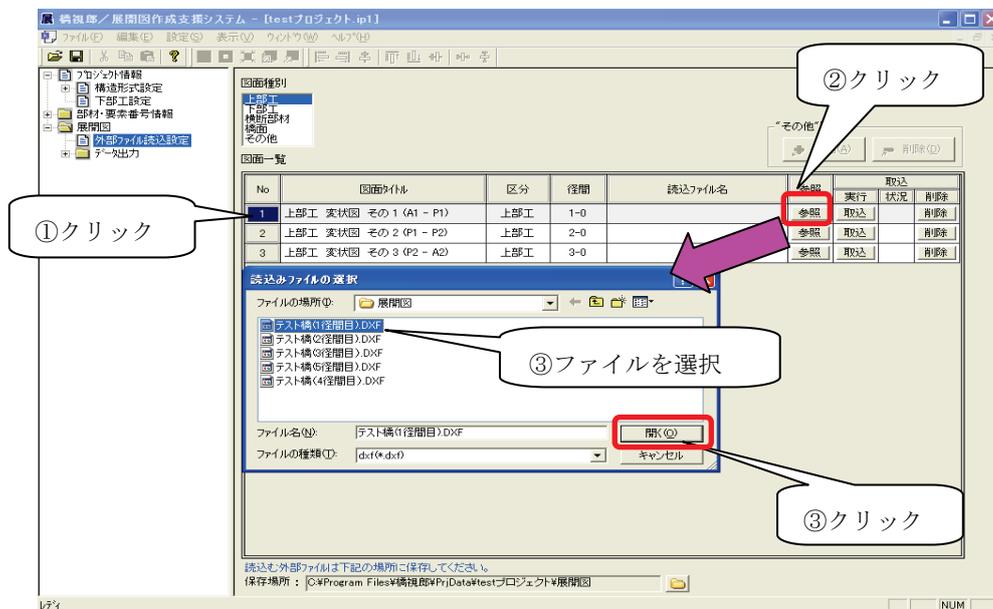
- (4) 外部ファイル取込モードでは、画面左側の「展開図」の下層に「外部ファイル読込設定」が表示されますので、『3.9 展開図確認・出力』の前に、以下の設定をしてください。外部ファイル読込設定画面を開き、指定されたフォルダの中に読込むファイルを保存するように、保存場所横に表示されている  ボタンをクリックし、指定された保存フォルダ内にデータが保存されていないことを確認します。



- (5) Windows のエクスプローラを使って、Auto CAD で作成したファイルが保存されているフォルダから橋視郎の指定保存フォルダ内にファイルをコピーします。



- (6) 外部ファイル読込設定画面に戻り、ファイル読込図面を選択し、[参照] ボタンをクリックすると、読込ファイル選択画面が開きますので、読込むファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



(7) [取込]ボタンをクリックすると、レイヤ情報取込みダイアログが表示されます。取込むレイヤ、線、文字列を選択します。選択完了後、[取込実行]ボタンをクリックします。

No	図面タイトル	区分	径間	読込ファイル名	参照	取込		
						実行	状況	削除
1	上部工 変状図 その1 (A1 - P1)	上部工	1-0	テスト橋(径間目).DXF	参照	取込		
2	上部工 変状図 その2 (P1 - P2)	上部工	2-0		参照	取込		削除
3	上部工 変状図 その3 (P2 - A2)	上部工	3-0		参照	取込		削除

①クリック

レイヤ情報の取込み [テスト橋(径間目).DXF]

選択したDXFファイルのレイヤ一覧を表示しています。  
 読込むレイヤの“線”、“文字”列のチェックをONにして取込実行ボタンをクリックしてください。  
 読込まない場合は、それぞれの列のチェックボックスをOFFにしてください。

■図面タイトル : 上部工 変状図 その1 (A1 - P1)

No	レイヤ名	取込	構造線	中心線	文字列
1	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	M-STR	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	M-BMK	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	M-STR-DIM	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	M-TTL-FRAM1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	M-TTL-LINE	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	M-TTL-TXT1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	M-TTL-TXT2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	M-SKT-TXT1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	M-TTL-TXT	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

取込実行(R) キャンセル(C)

②適宜チェック

③クリック

(8) ファイルの取込みが完了したことを確認します。

No	図面タイトル	区分	径間	読込ファイル名	参照	取込		
						実行	状況	削除
1	上部工 変状図 その1 (A1 - P1)	上部工	1-0	テスト橋(径間目).DXF	参照	取込	○	削除
2	上部工 変状図 その2 (P1 - P2)	上部工	2-0		参照	取込		削除
3	上部工 変状図 その3 (P2 - A2)	上部工	3-0		参照	取込		削除

展開図作成支援システム

DXFの取込が終了しました。

OK

確認

#### 【メモ】

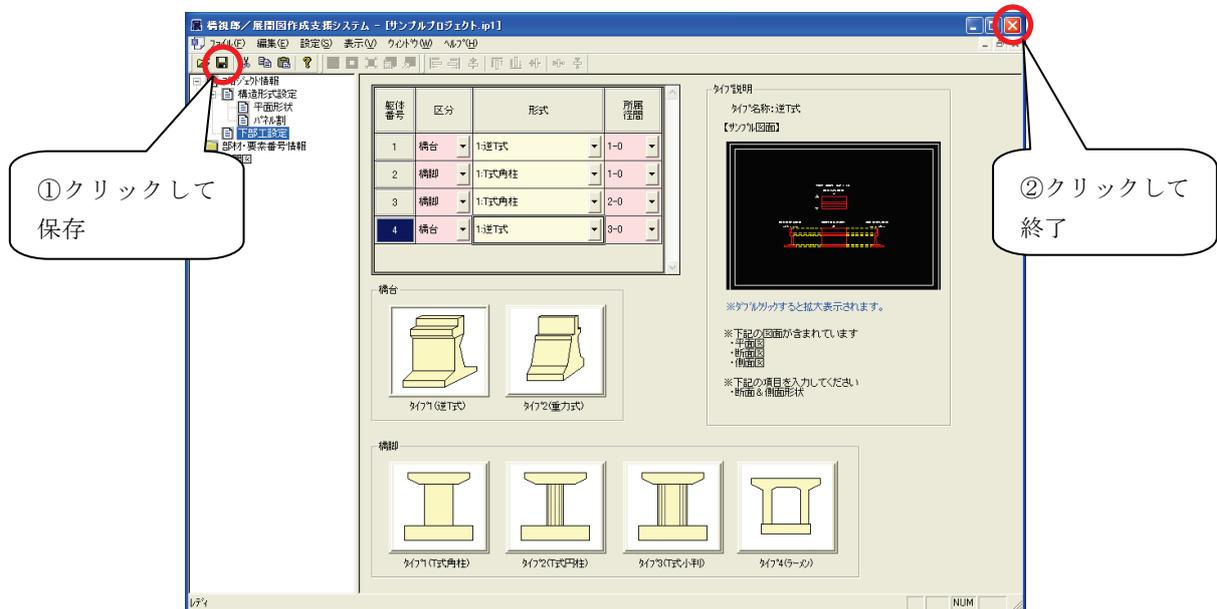
- ・構造線、中心線はどちらか一方しか取込むことができません。
- ・1つのファイルに複数図面登録されている場合は、図面ごとにレイヤ分けすることにより、1つのファイルで複数の図面を取込むことができます。

#### 【『橋視郎・展開図マニュアル』への参照情報】

- ・外部ファイル取り込みについて ⇒ 「6. 外部ファイル取り込み」

## 3.12 データの保存と展開図作成プログラムの終了

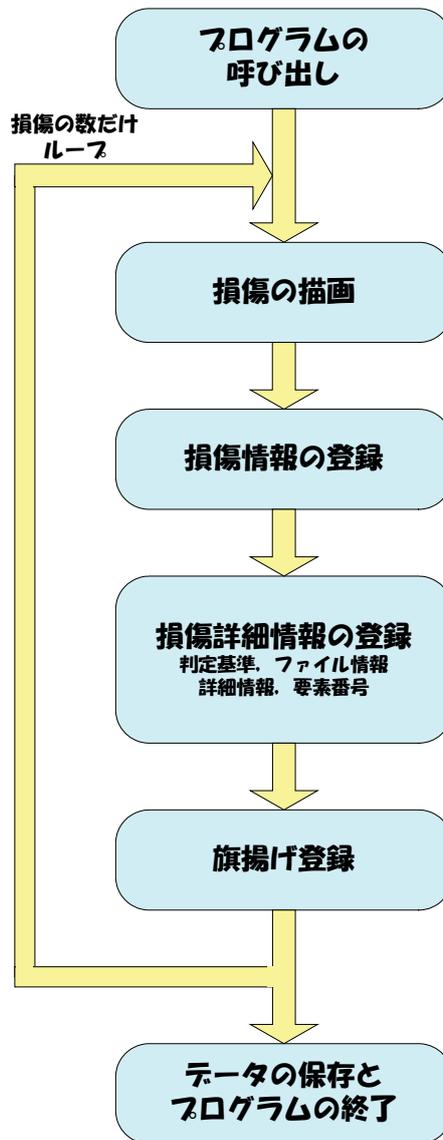
- (1) ツールバーのをクリックして、作業中のデータを保存した後、画面右上にある印をクリックしてください。展開図作成プログラムが終了します。



以上で基本的な展開図の設定は終わりです。

## 4. 変状図作成

橋視郎を使った変状図作成のおおまかな作業フローは、下記のようになります。



#### 4.1 変状図作成プログラムの呼び出し

- (1) プロジェクト一覧でプロジェクトをマウスで選択し、プログラムを起動の[変]ボタンをクリックしてください。



- (2) 初めて変状図を作成するときは、下記ダイアログが表示されます。「点検要領」等適切に入力し、[OK]ボタンをクリックします。

**新規業務作成**

点検業務基本情報を入力してください

橋梁名(漢字) : サンプル橋

点検年度 : 2008 年度

点検要領 : 国土交通省 平成16年版

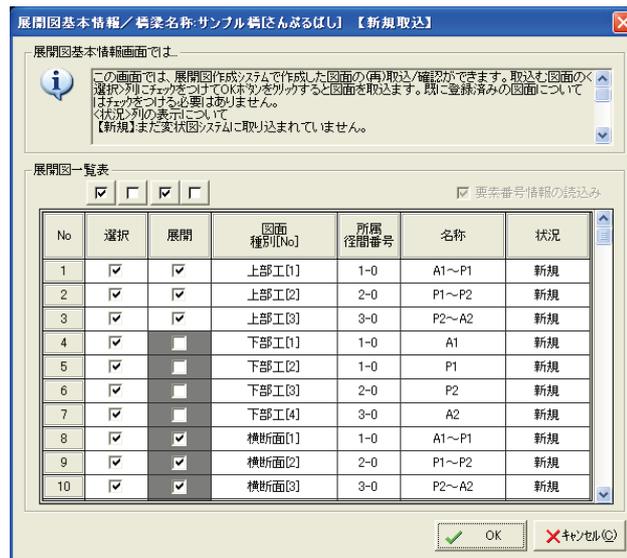
点検種別 : 定期点検

点検業務名 : サンプル橋の点検業務

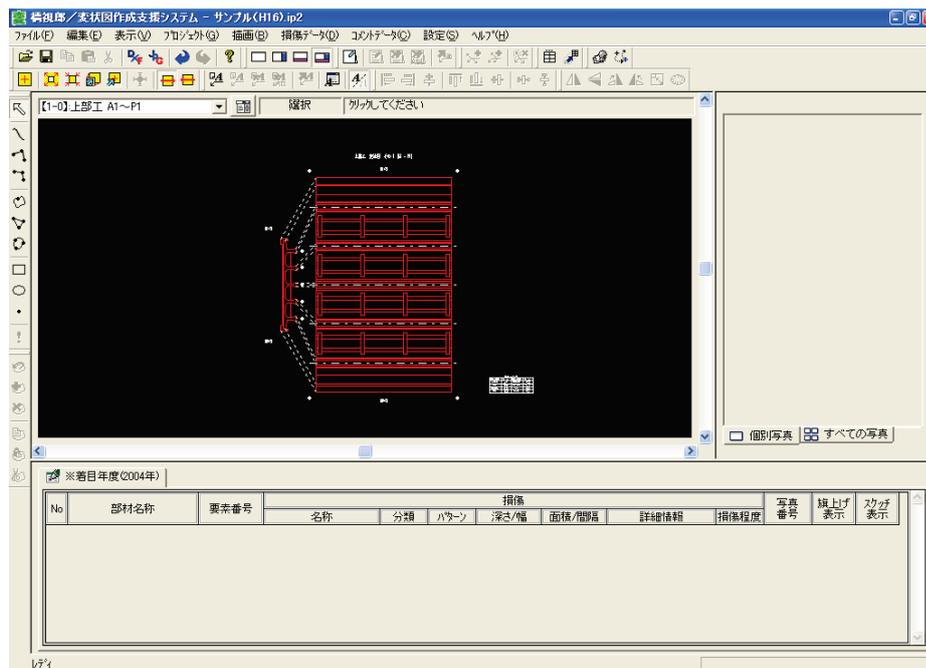
プロジェクト・フォルダ : D:\Program Files\橋視郎\PrjData\サンプルプロ

OK キャンセル

(3) 続いて下記ダイアログが表示されます。展開図を確認し[OK]ボタンをクリックします。



(4) 変状図作成プログラムが表示されます。

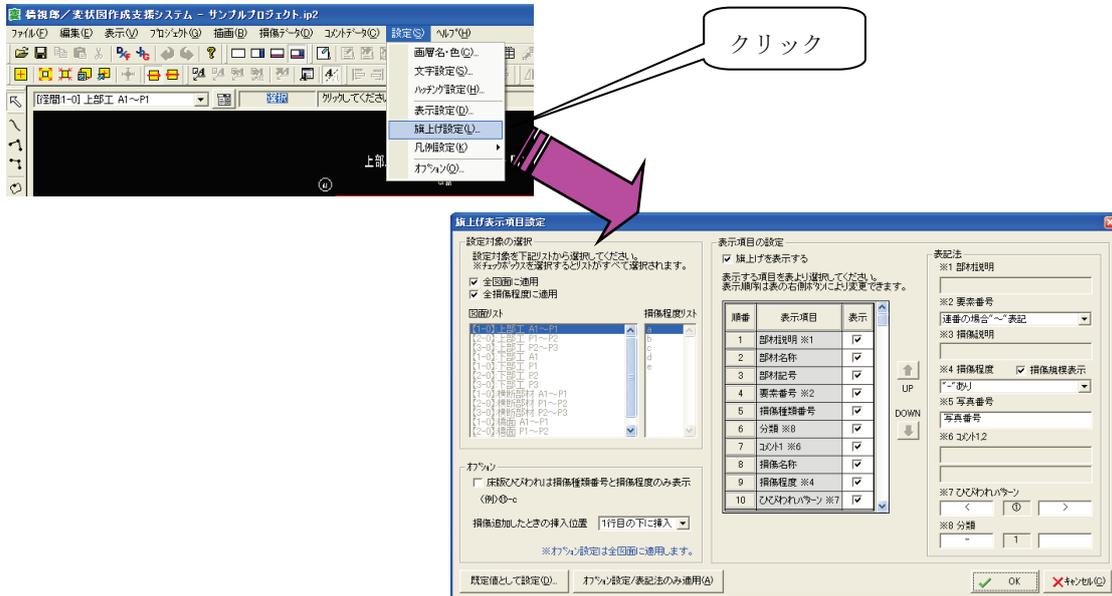


【『橋視郎・変状図マニュアル』への参照情報】

- ・ 変状図作成プログラムの画面構成、メニューについて ⇒ 「6.1 画面構成」
- ・ 変状図作成プログラムのツールバーについて ⇒ 「6.3 ツールバー」
- ・ 業務情報の入力について ⇒ 「6.4.4 業務管理ダイアログ」
- ・ 展開図の取り込み・確認について ⇒ 「6.4.6 管理ファイル読込ダイアログ」

## 4.2 初期設定

- (1) まず、初期設定を行います。メニューの[設定]-[旗上げ設定]をクリックすると、旗上げ設定ダイアログが表示されます。



- (2) 表示項目とその順序を表1のように設定してください。順序の入れ替えは下記操作を参照してください。

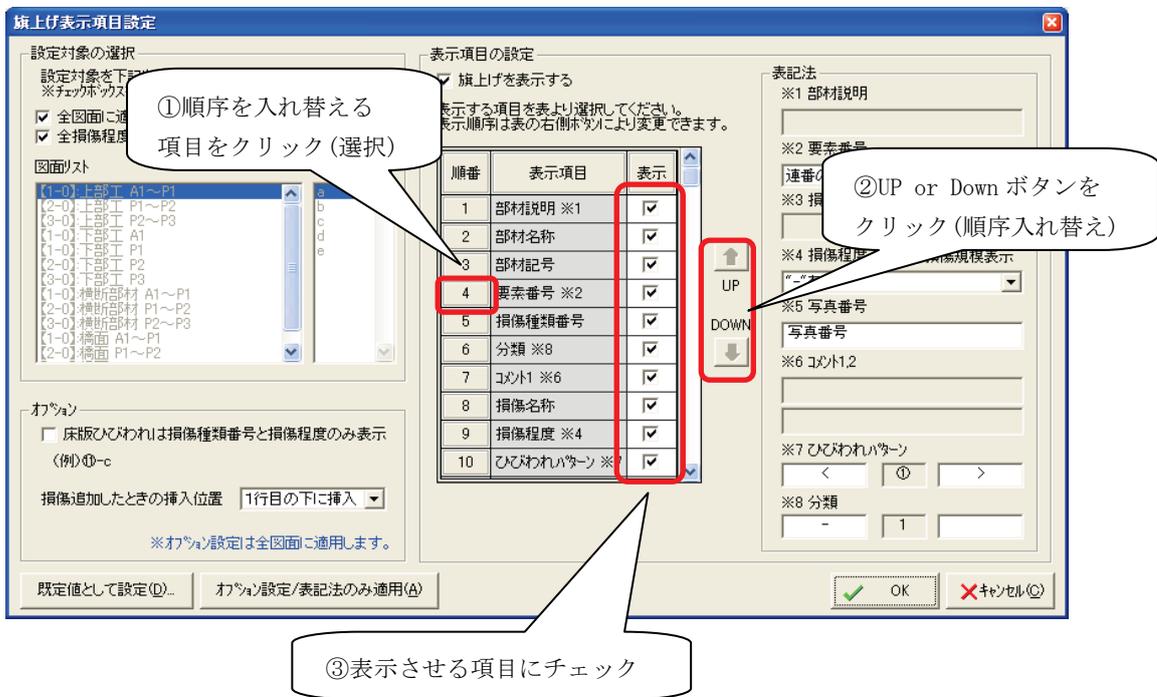


表1 旗上げ表示項目とその順序

順番	表示項目	表示
1	部材説明※1	レ
2	部材名称	レ
3	部材記号	レ
4	要素番号※2	レ
5	損傷種類番号	レ
6	分類※8	レ
7	コメント※6	レ
8	損傷名称	レ
9	損傷程度※4	レ
10	ひびわれパターン※7	レ
11	コメント※6	レ
12	損傷詳細	レ
13	損傷説明※3	レ
14	改行1	
15	旗揚げ線	レ
16	改行2	レ
17	写真番号※5	レ
18	損傷番号	

(3) 表記法、オプションも適宜変更し、[OK]ボタンをクリックしてください。

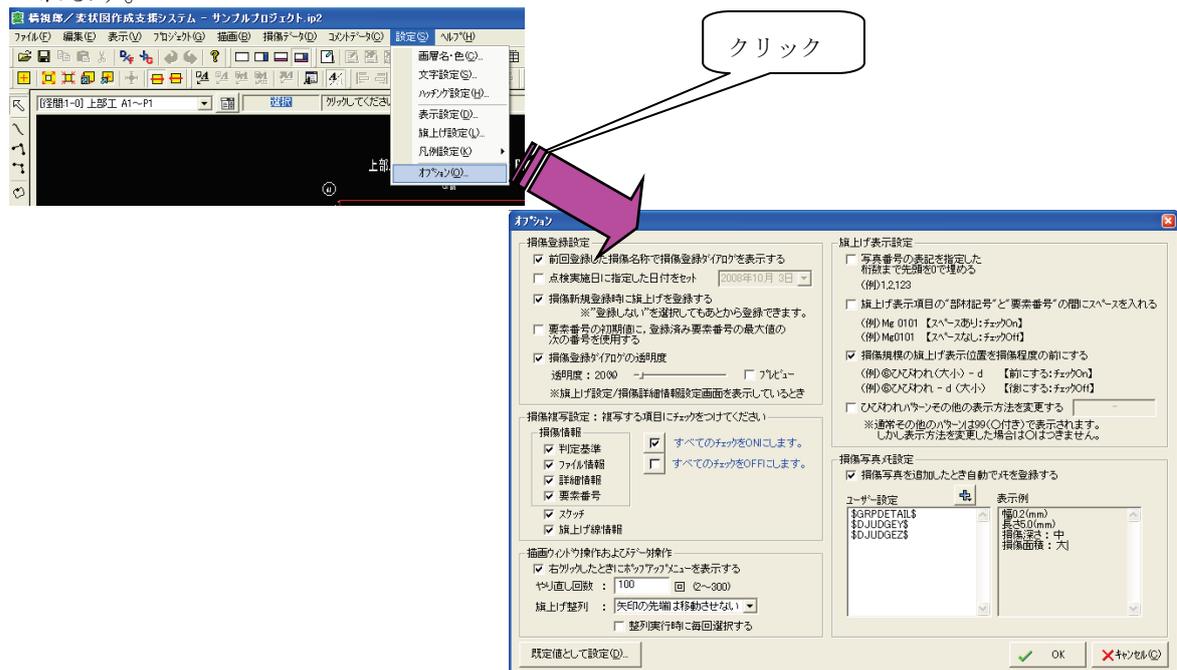
The screenshot shows the '旗上げ表示項目設定' (Flagging Item Setting) dialog box. It is divided into several sections:

- 設定対象の選択** (Selection of Setting Target): Includes checkboxes for '全図面に適用' (Apply to all drawings) and '全損傷程度に適用' (Apply to all damage degrees). Below are lists for '図面リスト' (Drawing List) and '損傷程度リスト' (Damage Degree List).
- オプション** (Options): A checkbox for '床版ひびわれは損傷種類番号と損傷程度のみ表示' (Only display damage type number and degree for slab cracking) is checked. Below it is a dropdown for '損傷追加したときの挿入位置' (Insertion position when adding damage) set to '1行目の下に挿入' (Insert below the first row). A note states '※オプション設定は全図面に適用します。' (Option settings apply to all drawings).
- 表示項目の設定** (Setting of Display Items): A checkbox '旗上げを表示する' (Display flagging) is checked. Below is a table for selecting items and their order, with '表示順序は表の右側列により変更できます。' (Display order can be changed by the right column of the table). The table lists items 1 through 10 with checkboxes in the '表示' column.
- 表記法** (Notation Method): A section for configuring how items are displayed, including dropdowns for '※1 部材説明', '※2 要素番号', '※3 損傷説明', '※4 損傷程度' (with '損傷規模表示' checked), '※5 写真番号', '※6 コメント1,2', '※7 ひびわれパターン', and '※8 分類'.

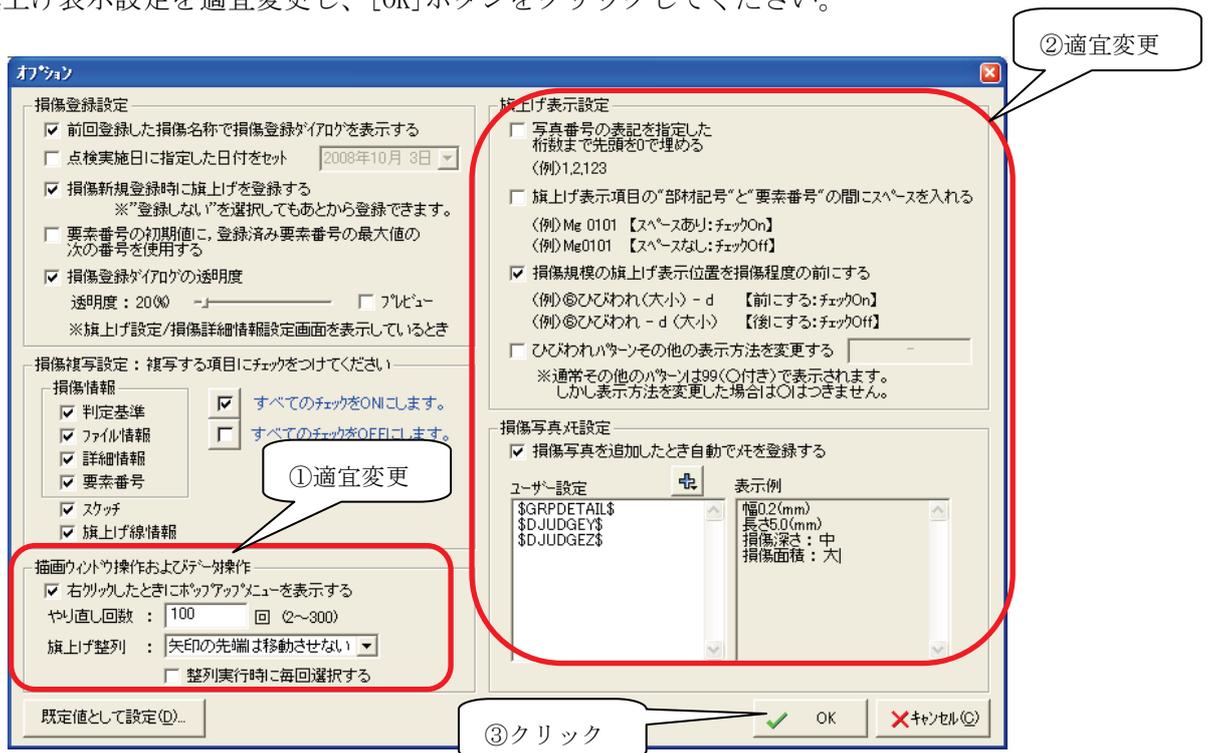
Callouts and actions are indicated:

- ① 適宜変更 (Appropriate modification): Points to the 'オプション' section.
- ② 適宜変更 (Appropriate modification): Points to the '表示項目の設定' table.
- ③ クリック (Click): Points to the 'OK' button.

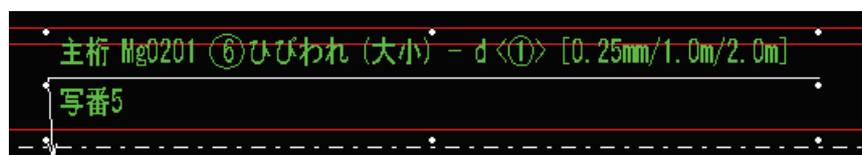
(4) 次に、メニューの[設定]-[オプション]をクリックすると、オプションダイアログが表示されます。



(5) 旗上げ表示設定を適宜変更し、[OK]ボタンをクリックしてください。



上記の設定で旗上げは下図のように表示されます。

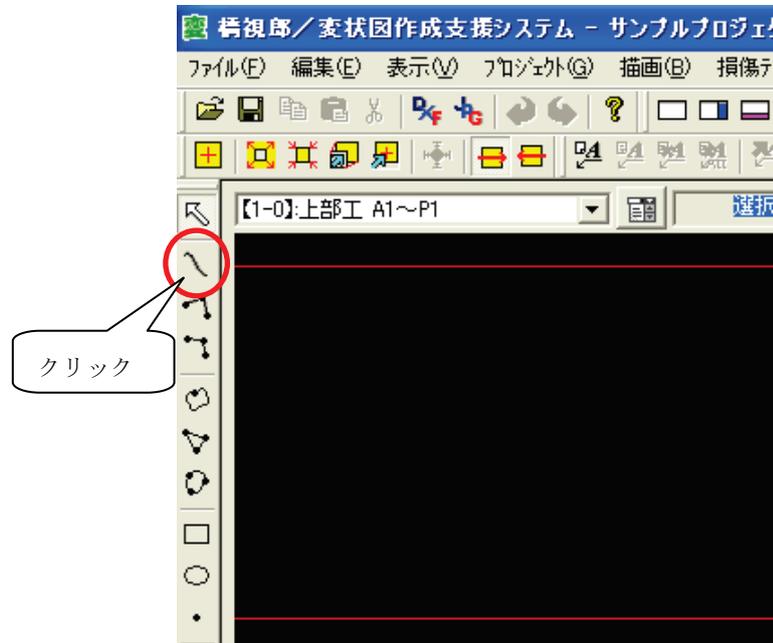


【『橋視郎・変状図マニュアル』への参照情報】

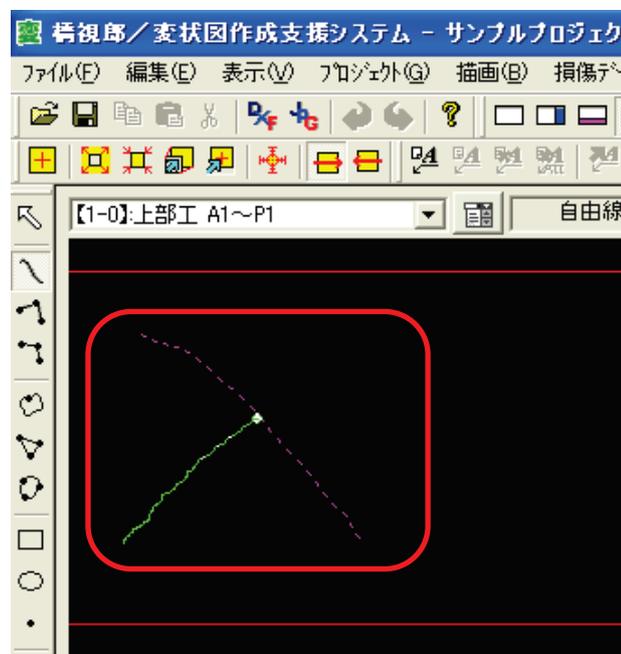
・初期設定について ⇒ 「6.2.8 設定メニュー」

### 4.3 損傷の描画（例：ひびわれの描画）

(6) 画面左側のツールバーでをクリックしてください。自由曲線が描画できるようになります。



(7) 展開図上の該当箇所にはびわれ形状を描画します。

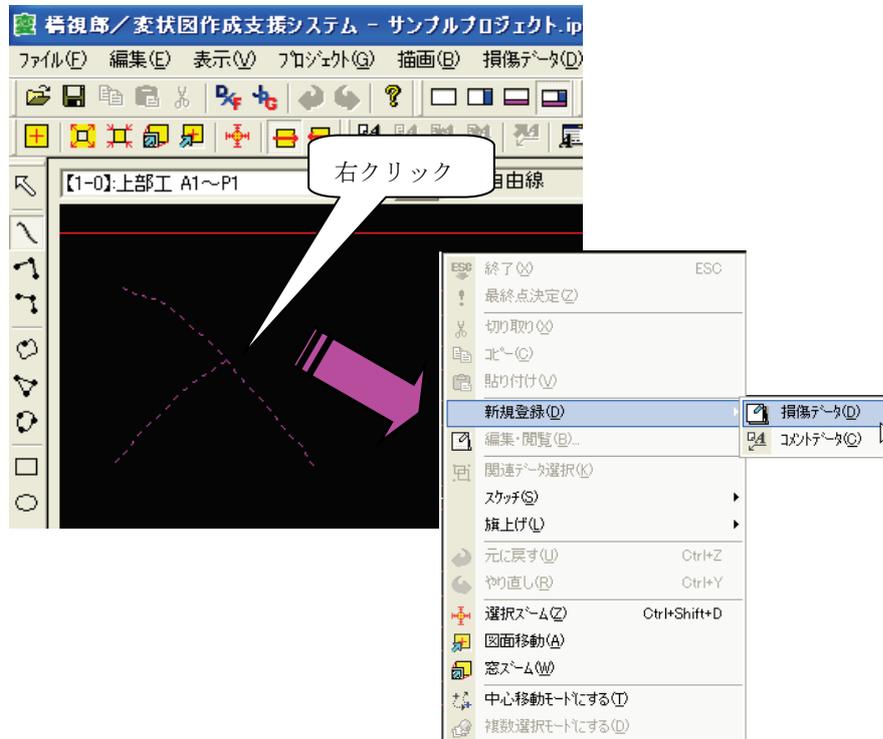


#### 【『橋視郎・変状図マニュアル』への参照情報】

- ・スケッチ作成、変形について ⇒ 「6.3.6 スケッチ作成ツールバー」
- ・ズーム、移動について ⇒ 「6.3.5 ズーム／移動ツールバー」

## 4.4 損傷情報の登録

- (1) 描画面上でクリックするとメニューが表示されます。[新規登録]-[損傷データ]をクリックしてください。損傷情報登録ダイアログが表示されます。



- (2) 損傷情報登録ダイアログで、損傷の工種、材質、部材名称、損傷名称を選択し、左下の[詳細情報]ボタンをクリックしてください。損傷詳細情報の入力に移ります。

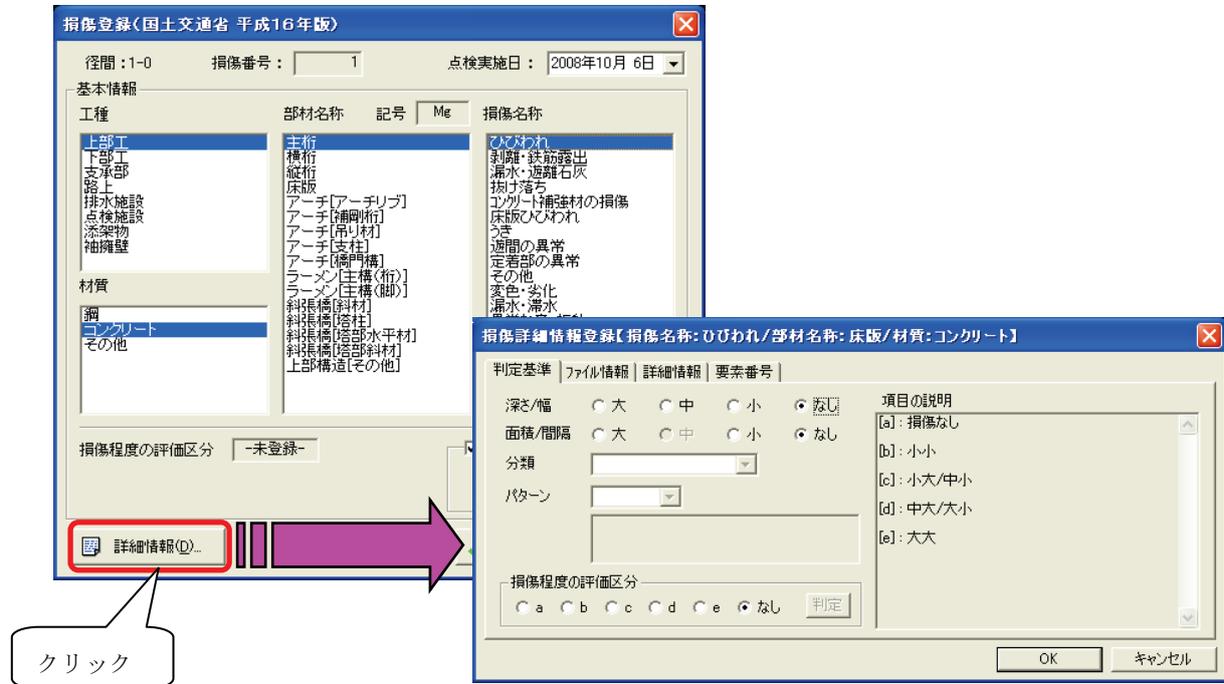


## 【『橋視郎・変状図マニュアル』への参照情報】

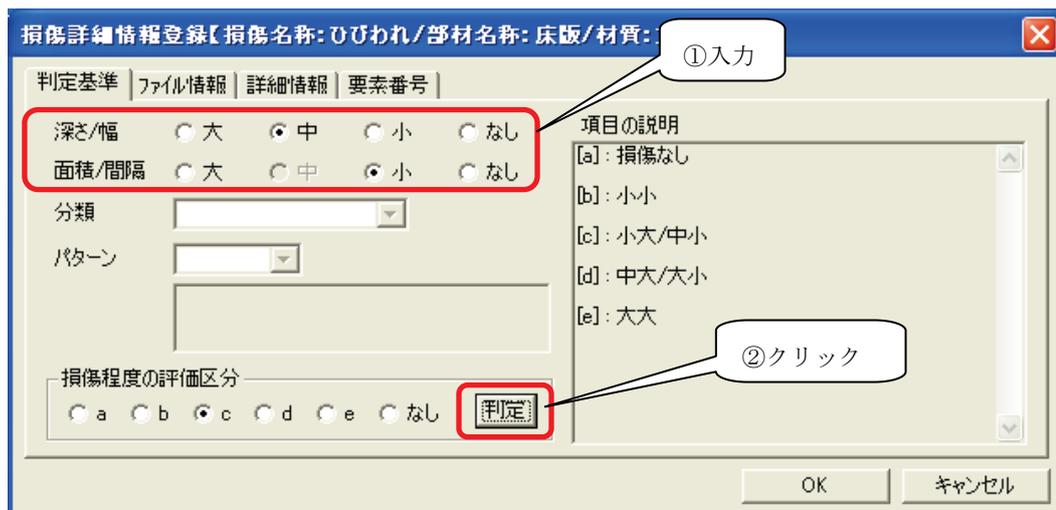
- ・ 損傷情報ツールバーについて ⇒ 「6.3.3 損傷データツールバー」
- ・ 損傷情報の新規登録について ⇒ 「6.4.9 損傷詳細データ登録ダイアログ」

## 4.5 損傷詳細情報の登録（判定基準）

- (1) 損傷情報登録ダイアログで、左下の[詳細情報入力...]ボタンをクリックすると、損傷詳細情報登録ダイアログ（判定基準入力画面）が表示されます。



- (2) 損傷詳細情報登録ダイアログの判定基準入力画面で、損傷の深さ／幅、面積／間隔を入力し、[判定]ボタンをクリックしてください。損傷の程度が評価されます。

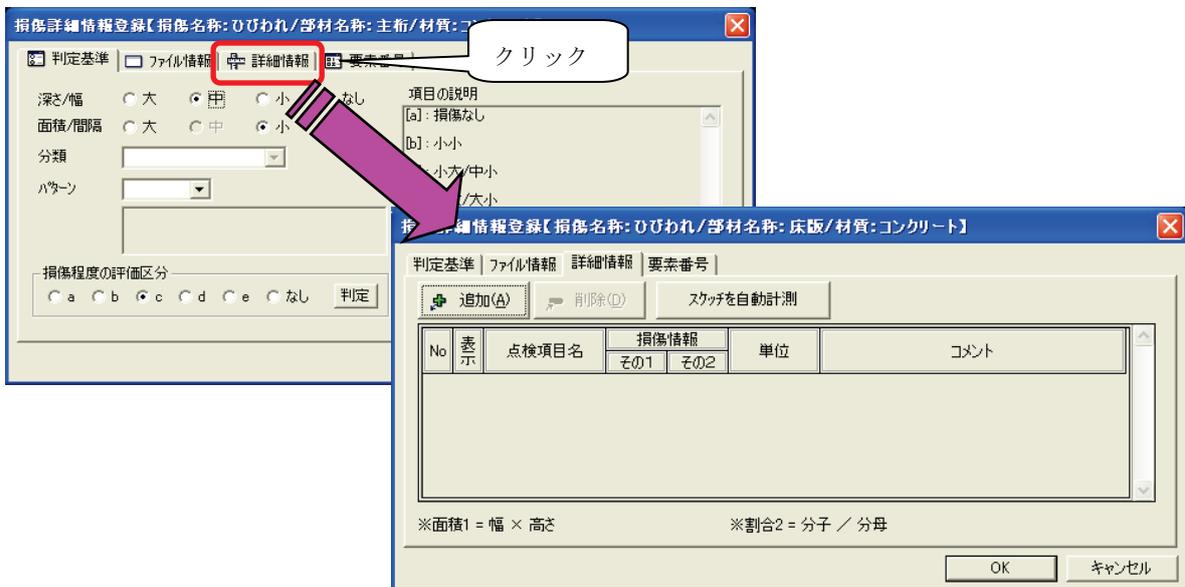


【『橋視郎・変状図マニュアル』への参照情報】

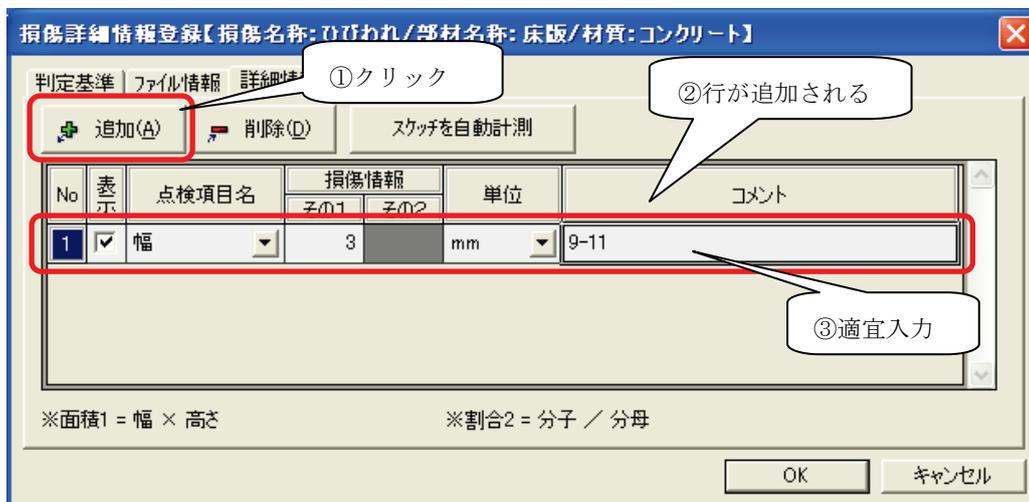
- ・判定基準について ⇒ 「6.4.10 損傷詳細情報の登録」

## 4.6 損傷詳細情報の登録（詳細情報）

(1) 次に「詳細情報」タブをクリックしてください。詳細情報入力画面が表示されます。



(2) 詳細情報入力画面で[追加]ボタンをクリックしてください。表に行が1行追加されます。追加された行に必要な情報を入力してください。

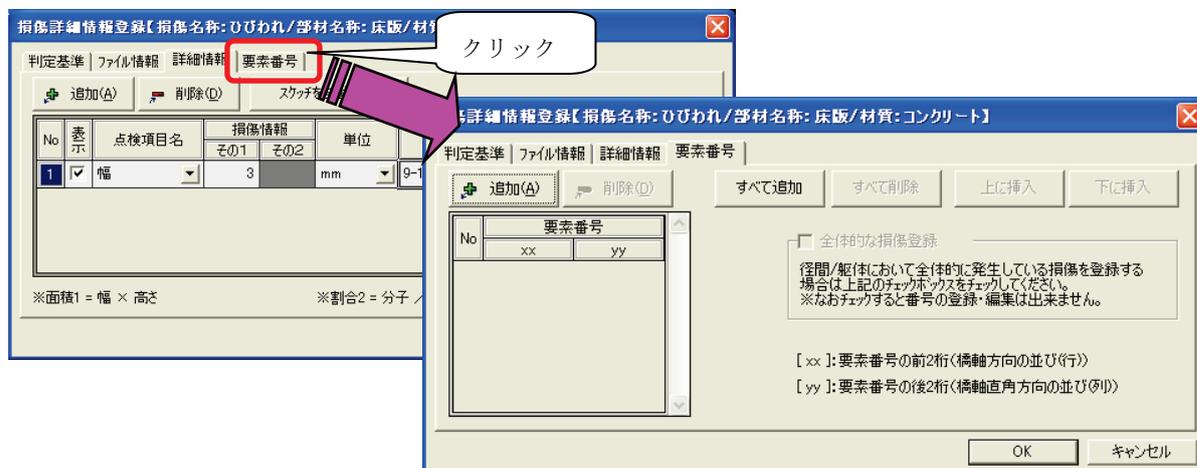


【『橋視郎・変状図マニュアル』への参照情報】

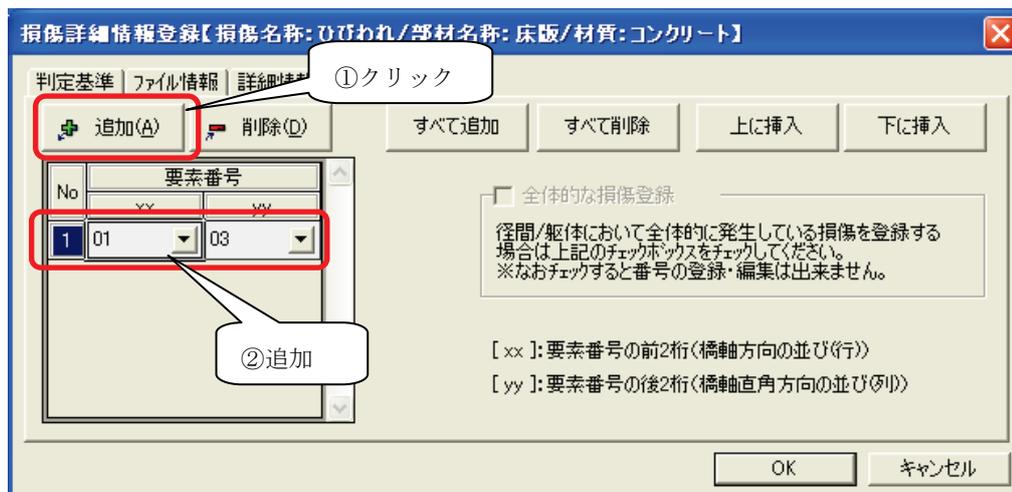
・詳細情報について ⇒ 「6.4.10 損傷詳細情報の登録」

## 4.7 損傷詳細情報の登録（要素番号）

- (1) 要素番号を入力する場合は「要素番号」タブをクリックしてください。要素番号入力画面が表示されます。



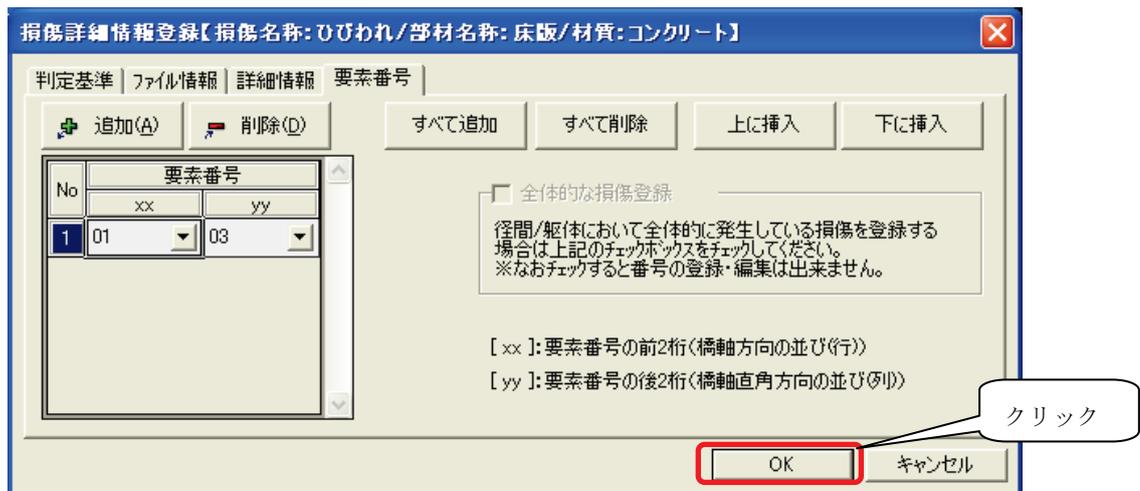
- (2) 要素番号入力画面で[追加]ボタンをクリックしてください。表に行が1行追加されます。追加された行に要素番号を入力してください。



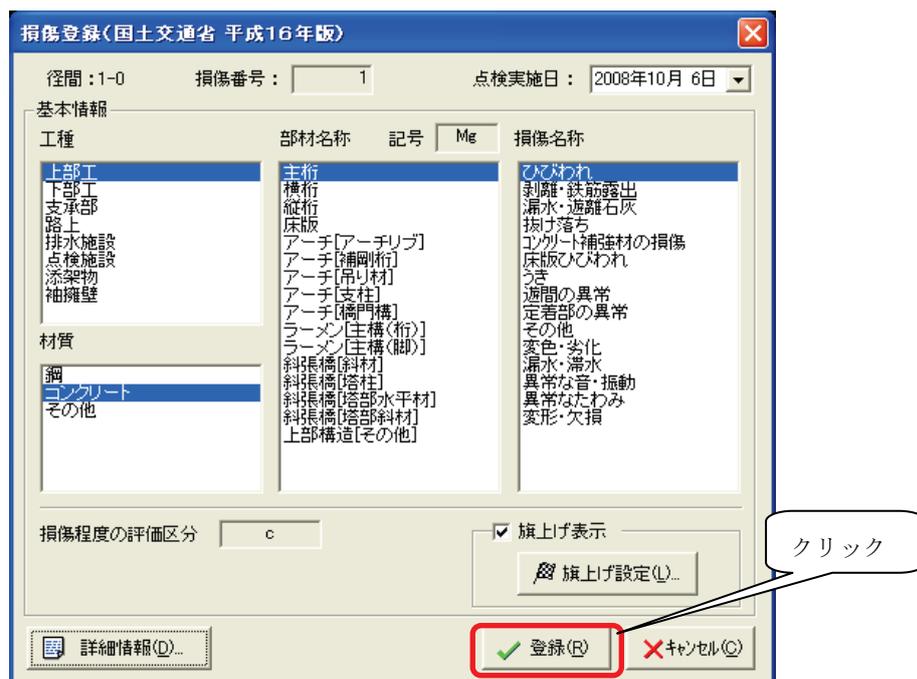
## 【『橋視郎・変状図マニュアル』への参照情報】

- ・要素番号について ⇒ 「6.4.10 損傷詳細情報の登録」

- (3) ここまで入力したら、損傷情報を登録します。まず、損傷詳細情報登録ダイアログの[OK]ボタンをクリックしてください。

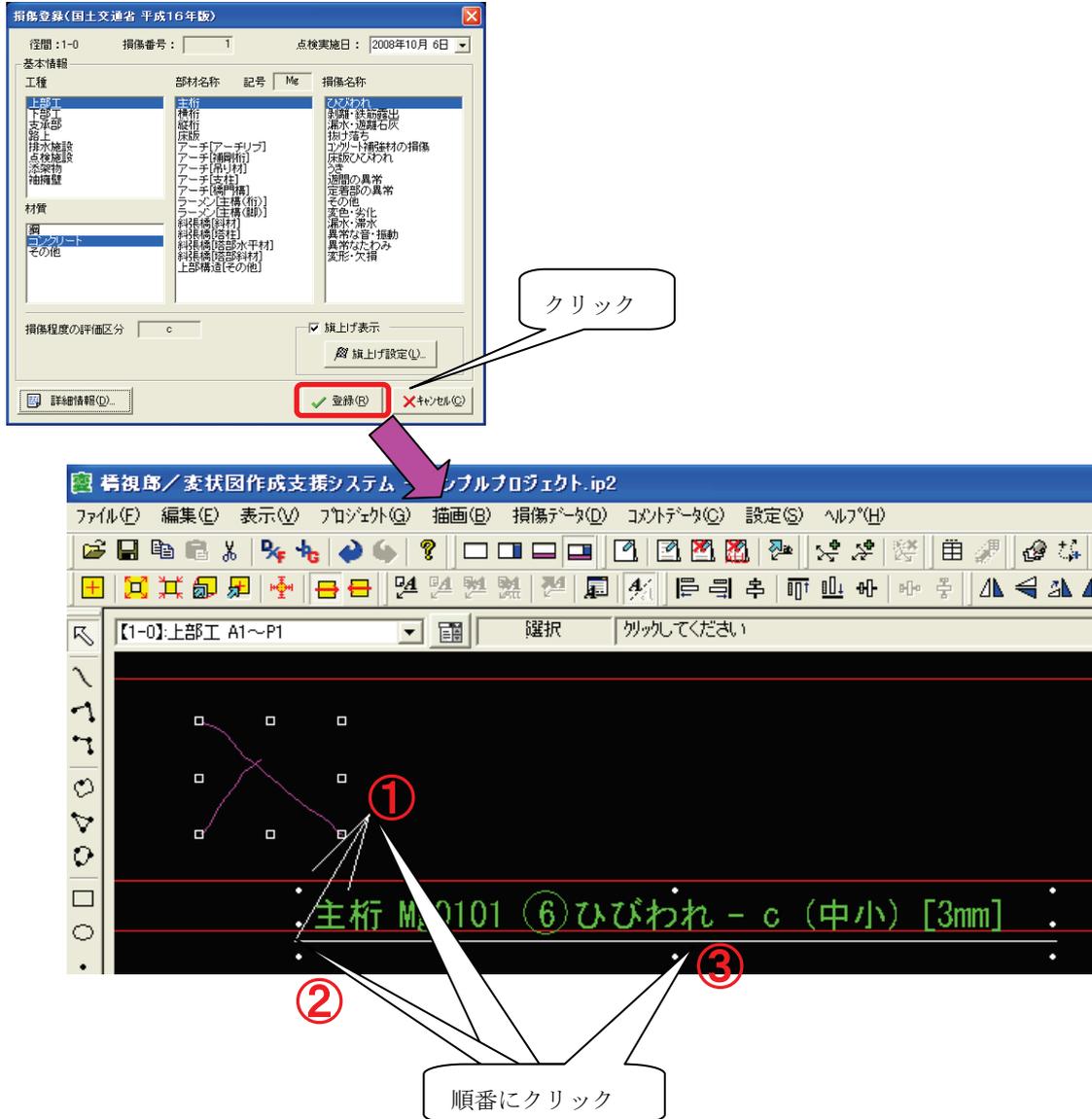


- (4) 最後に、損傷情報登録ダイアログの[登録]ボタンをクリックしてください。



## 4.8 旗上げ登録

- (1) 損傷情報登録ダイアログの[登録]ボタンをクリックするとマウスが旗の形状に変わります。  
この状態で展開図上の任意の位置に①～③の3点をクリックすると、旗上げ登録されます。

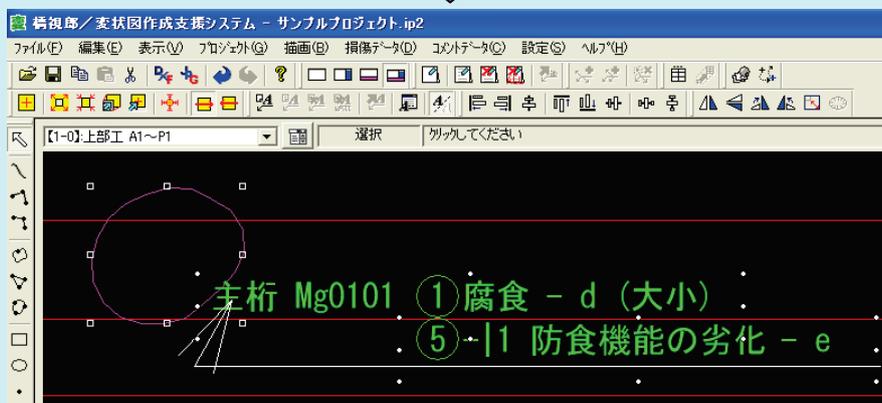
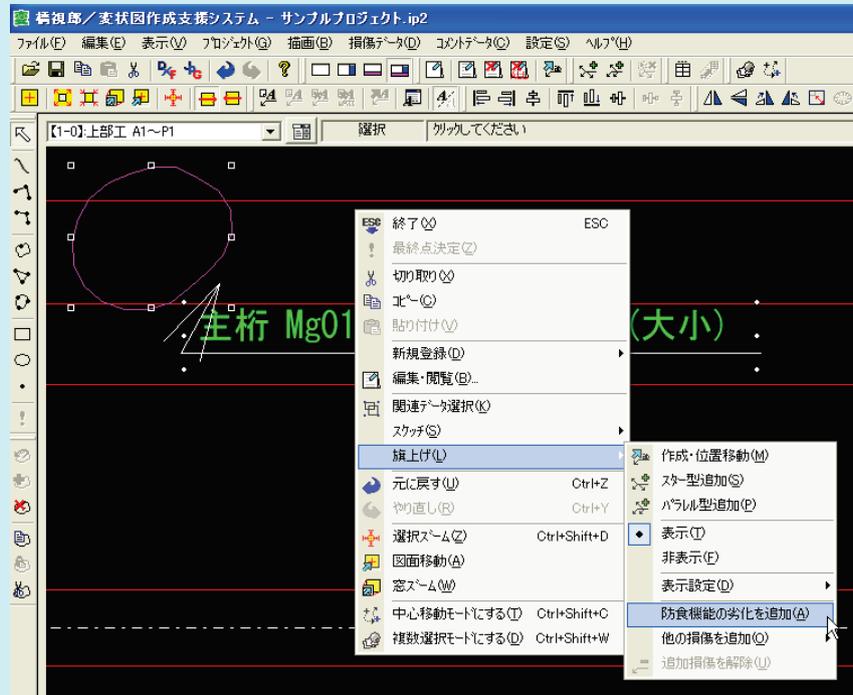


【『橋視郎・変状図マニュアル』への参照情報】

- ・旗上げについて ⇒ 「6.4.11 旗上げ表示項目設定ダイアログ」「6.4.23 旗上げ設定ダイアログ」

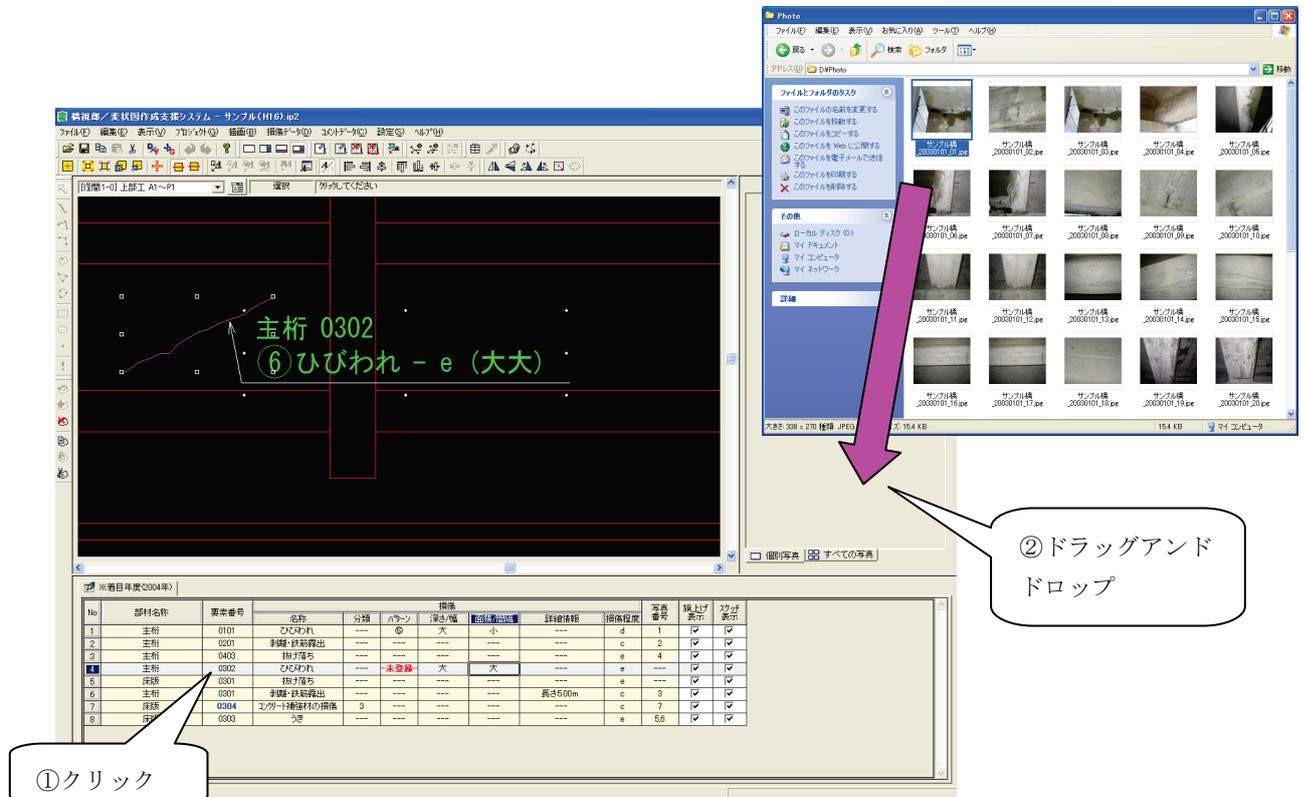
## 【メモ】

- ・ 損傷として「腐食」を登録した場合、旗上げの後、右クリックメニューの[旗上げ]-[防食機能の劣化を追加]で、“防食機能の劣化”を追加することができます。



## 4.9 写真の登録

(1) 写真を登録する場合は、画面下部の表ウィンドウで損傷を選択し、画面右側の写真ウィンドウに Windows のエクスプローラから写真をドラッグアンドドロップしてください。



## 【メモ】

・画面下部の表ウィンドウで損傷（行）をダブルクリックすると、登録された損傷情報を編集することができます。

以上で基本的な変状図作成作業は終わりです。これを登録する損傷の数だけ繰り返してください。

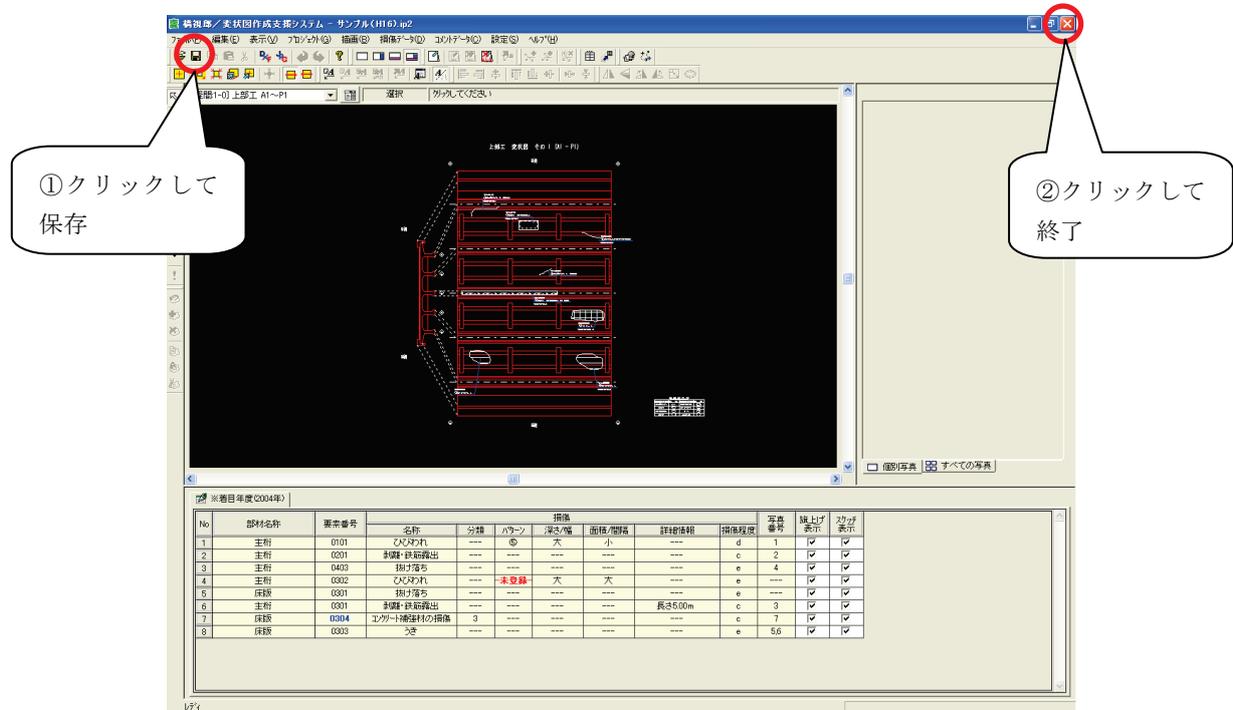
描画の詳細、ハッチング設定などについては『橋視郎・操作マニュアル』を参照してください。

## 【『橋視郎・変状図マニュアル』への参照情報】

- ・描画について ⇒ 「6.5 描画ウィンドウ」
- ・ハッチング設定について ⇒ 「6.4.21 ハッチング設定ダイアログ」
- ・一覧表について ⇒ 「6.7 損傷一覧表ウィンドウ」
- ・DXF, JPG などのファイル出力について ⇒ 「6.4.2DXF ファイル出力ダイアログ」

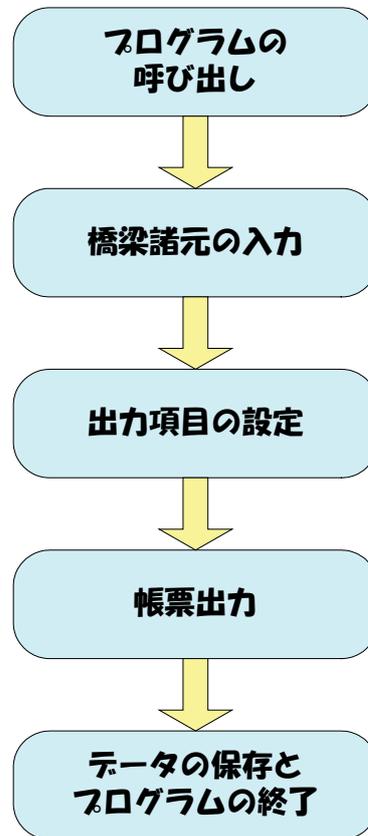
## 4.10 データの保存と変状図作成プログラムの終了

(1) ツールバーのをクリックして、作業中のデータを保存した後、画面右上にある印をクリックしてください。変状図作成プログラムが終了します。



## 5. 帳票出力

橋視郎を使った帳票作成のおおまかな作業フローは、下記のようになります。

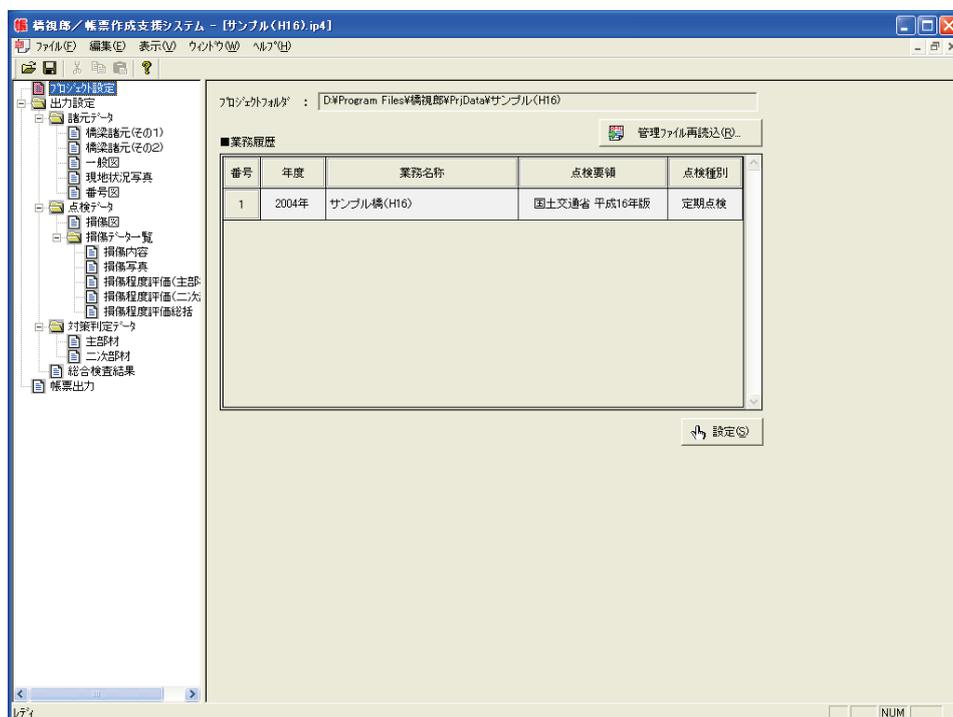


## 5.1 帳票作成プログラムの呼び出し

- (1) プロジェクト一覧でプロジェクトをマウスで選択し、プログラムを起動の[帳]ボタンをクリックしてください。



- (2) 帳票作成プログラムが表示されます。

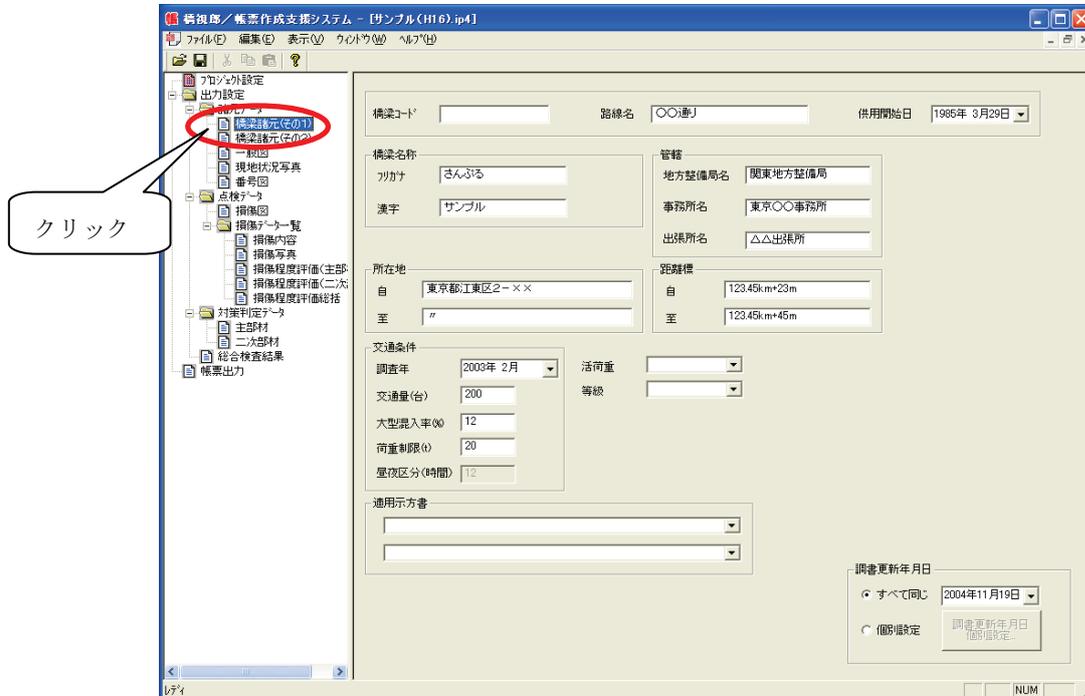


### 【『橋視郎・帳票マニュアル』への参照情報】

- ・ 帳票作成プログラムの画面構成、ツールバーについて ⇒ 「5.1 画面構成」
- ・ 帳票作成プログラムのメニューについて ⇒ 「5.2 メニュー説明」

## 5.2 橋梁諸元の入力（保全システム使用の場合は入力なし）

- (1) 画面左側で「橋梁諸元（その1）」を選択すると、画面右側に橋梁諸元入力画面が表示されます。



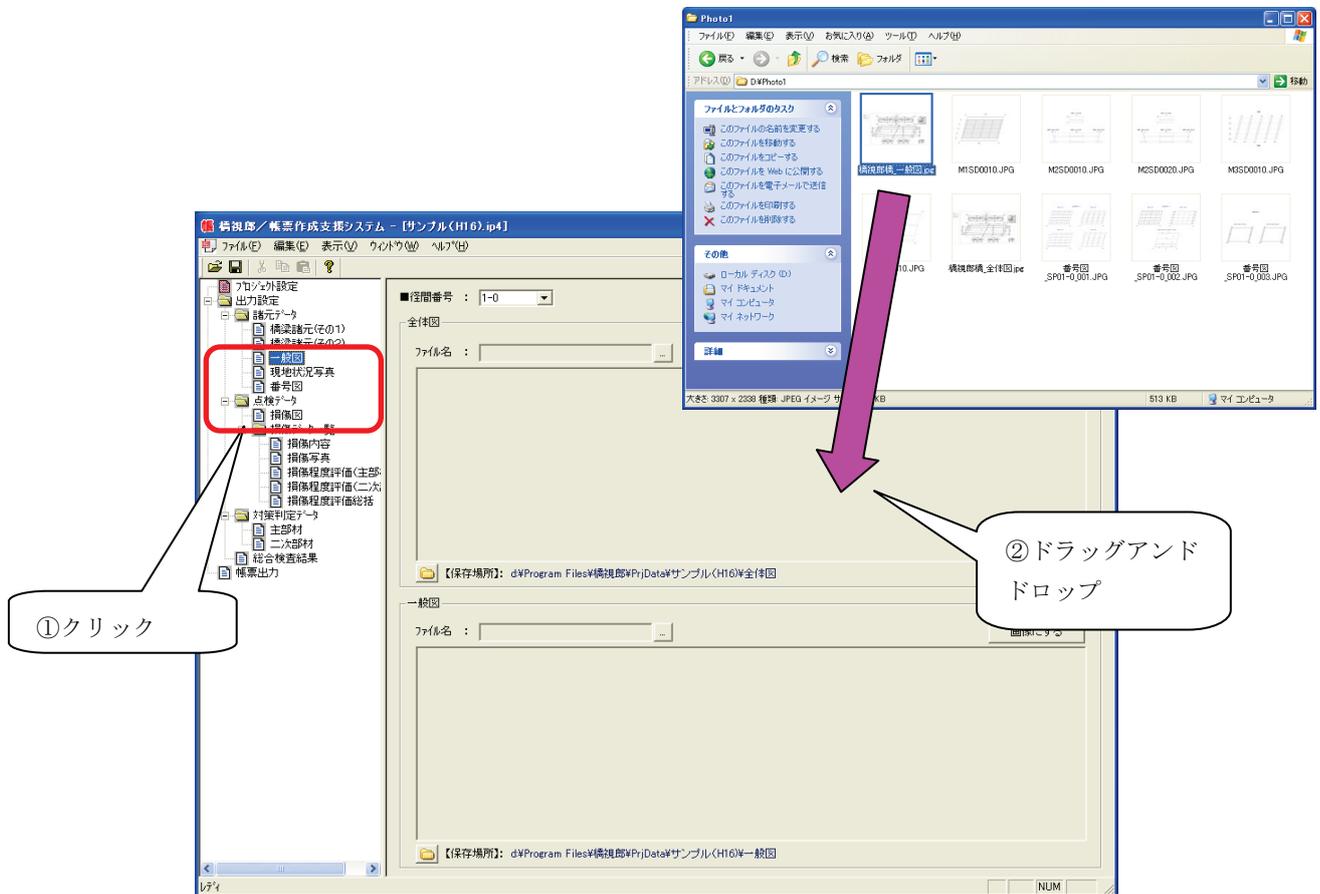
- (2) 既定値を確認し、変更があれば入力します。  
 (3) 「橋梁諸元（その2）」も同様です。

### 【『橋視郎・帳票マニュアル』への参照情報】

- ・橋梁諸元について ⇒ “土木研究所橋梁点検要領”「5.3.2 橋梁諸元」  
 “国交省橋梁点検要領”「5.4.2 橋梁諸元(その1)」「5.4.3 橋梁諸元(その2)」

## 5.3 一般図、現地状況写真、番号図、損傷図の登録

- (1) 画面左側で「一般図」「現地状況写真」「番号図」「損傷図」の各項目を選択すると、各図の写真登録画面が表示されます。各画面の写真ウィンドウに Windows のエクスプローラから写真をドラッグアンドドロップしてください。

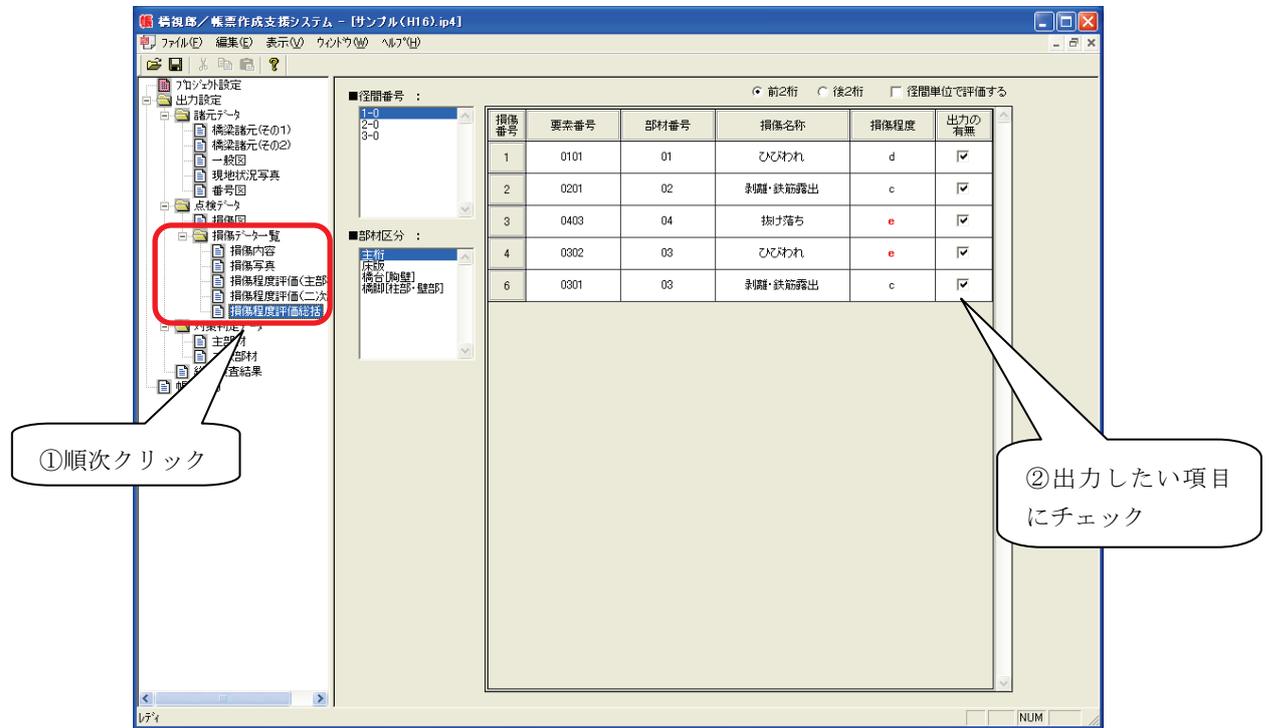


## 【橋 視郎・帳票マニュアル】への参照情報】

- ・各図の登録について ⇒ “土木研究所橋梁点検要領” 「5.3.4 径間別一般図」 「5.3.5 番号図」 「5.3.6 損傷図」  
“国交省橋梁点検要領” 「5.4.4 一般図」 「5.4.5 現地状況写真」 「5.4.6 番号図」  
「5.4.7 損傷図」

## 5.4 出力項目の設定

- (1) 画面左側で「損傷データ一覧」の各項目を選択すると、各出力項目の設定画面が表示されます。出力したい項目にチェックを入れてください。

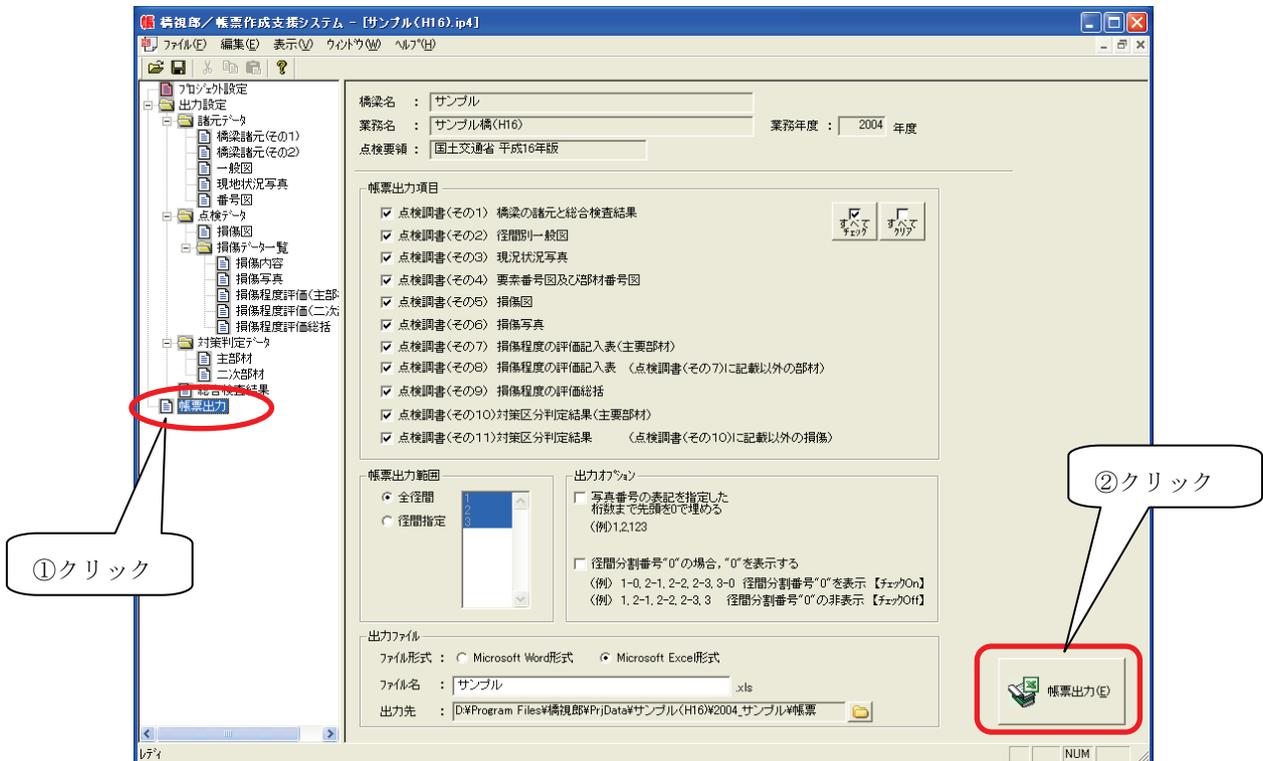


### 【『橋視郎・帳票マニュアル』への参照情報】

- ・出力項目設定について ⇒ “土木研究所橋梁点検要領”「5.3.7 損傷内容」  
“国交省橋梁点検要領”「5.3.8 損傷内容」

## 5.5 帳票出力

- (1) 画面左側で「帳票出力」を選択すると、帳票出力画面が表示されます。出力したい項目にチェックを入れて、[帳票出力]ボタンをクリックしてください。



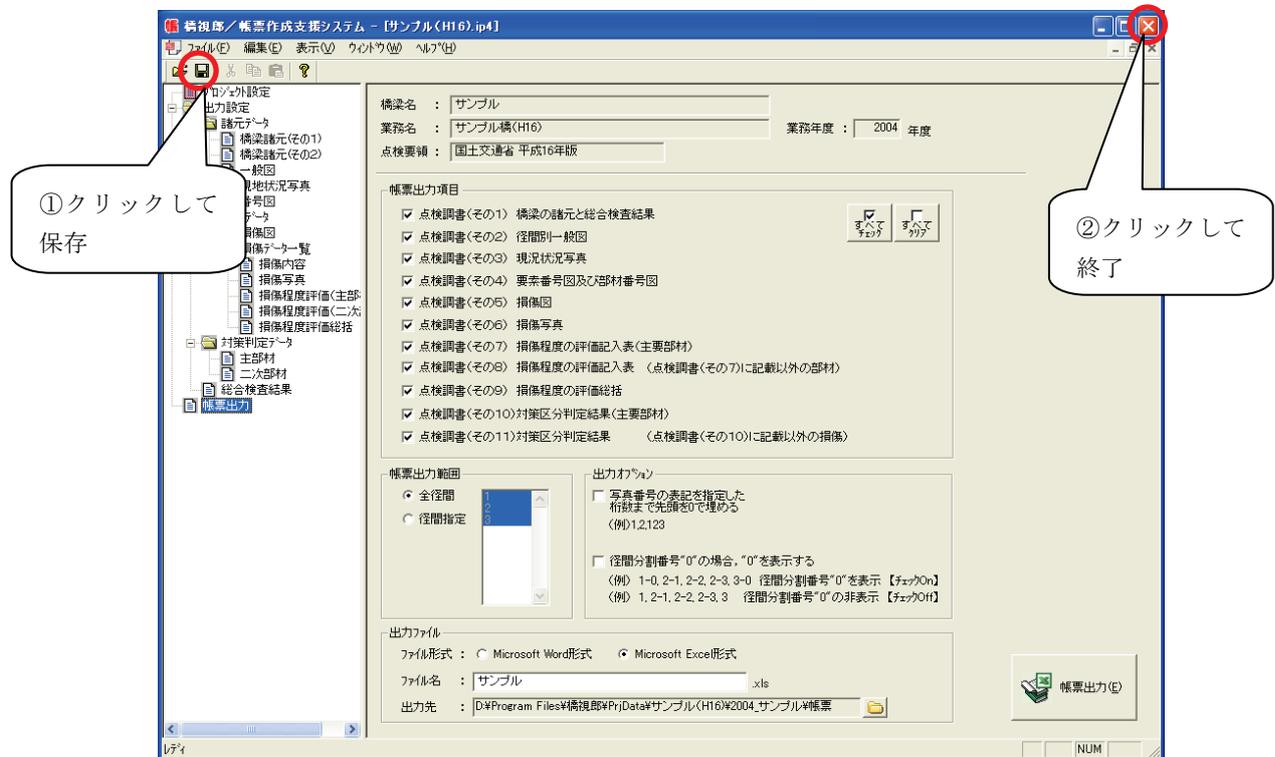
## 【『橋視郎・帳票マニュアル』への参照情報】

- ・帳票出力について ⇒ “土木研究所橋梁点検要領” 「5.3.14 帳票出力」  
“国交省橋梁点検要領” 「5.4.16 帳票出力」

以上で帳票出力の基本的な操作は終わりです。

## 5.6 データの保存と帳票作成プログラムの終了

- (1) ツールバーのをクリックして、作業中のデータを保存した後、画面右上にある印をクリックしてください。帳票作成プログラムが終了します。



## 6. サポート

### ■ 橋視郎に関するお問い合わせ

下記のお問い合わせフォームもしくはファックスでお願いいたします。

URL : <http://www.jip-ts.co.jp/help/>

FAX : 03-5614-3209

### ■ バージョンアップ

将来、関連する要領・基準の改訂に伴うツールのメジャーバージョンアップ時は、有償にて新規バージョンを提供させて頂く場合がございます。

- ◆ 本プログラム及び本書は、無断で複製することはできません。
- ◆ 本プログラム及び本書の内容は予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

# きょうしろう 橋視郎

～ 橋梁点検支援システム ～

## 簡易マニュアル

平成 20年 10月 22日 初版 発行

JIPテクノサイエンス株式会社  
システム開発部

お問い合わせ先  
<http://www.jip-ts.co.jp/help/>